三郷町教育委員会
教育に関する事務の点検及び評価報告書
(平成21年度実施分)

平成22年9月
三郷町教育委員会

目 次

はじめに	1
I 点検・評価の概要	2
II 町教育委員会の活動状況	3
III 施策及び事業の点検・評価	7
1. 総合計画との対応関係	8
2. 点検・評価項目	
① 学校施設の整備	9
② 教職員研修の充実	11
③ 就園・就学の支援	13
④ 特別支援教育の推進	15
⑤ 情報・国際教育の推進	17
⑥ いじめ・不登校の対策	19
⑦ 地域の教育力の向上	21
⑧ 安全・安心の学校づくり	23
⑨ 学校給食体制の整備	25
⑩ 幼児教育の充実	27
⑪ 放課後児童クラブの充実	29
⑫ 生涯学習の推進	31
⑬ 青少年の健全育成	33
⑭ 人権教育・啓発の推進	35
⑮ 文化センターの充実	37
⑯ 文化活動への支援	39
⑰ 図書館の充実	41
⑱ 文化財の保護の活用	43
⑲ 生涯スポーツの推進	45
⑳ スポーツ施設の整備	47
IV 学識経験者の知見の活用	49

はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。(同法第27条第1項)

同法の規定に基づき、平成21年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ報告いたします。

平成22年9月

三郷町教育委員会

委員長	鶴丸	浩
委員	芝崎	善彦
委員	川崎	洋子
委員	森川	征浩
委員(教育長)	山野	一明

I 点検・評価の概要

1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成21年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

3. 点検・評価の実施方法

- ①町教育委員会の活動状況については、平成21年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。
- ②町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町第4次総合計画」の施策体系ごとに、20の点検評価項目を設定し、それぞれの事務事業の平成21年度の実績について、「事業評価シート」にまとめました。
- ③点検及び評価にあたっては、客観性を確保するため、外部の学識経験を有する方から、指導・助言を受け、報告書をまとめました。

【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
米川 英樹	大阪教育大学・教育学部 教授

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うにあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 町教育委員会の活動状況

1. 教育委員

役職名	氏名
委員長	鶴丸 浩
職務代理者	芝崎 善彦
委員	川崎 洋子
委員	森川 征浩
教育長	山野 一明

2. 教育委員会議の開催状況

- ① 定例会・・・12回
- ② 臨時会・・・2回

3. 教育委員会議の審議状況

- ① 審議事項・・・28件
- ② 報告事項・・・27件（各課別報告除く。）

※次頁以降に、平成21年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については、「議案」として、その他の報告事項については、「報告」に分類し記載しています。

4. 教育委員の活動状況

- ① 学校(園)計画訪問実施（年1回）
幼稚園1園、小学校2校、中学校1校
- ② 学校行事への参加
入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等
- ③ 各種会議、行事、研修会等への参加
子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年健全育成各種会議、各種研修・研究大会、成人式等

平成21年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	平成21年 第4回定例教育委員会	開会日	平成21年4月23日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員の委嘱について ・三郷町立学校の管理運営に関する規則の一部改正について ・三郷町児童生徒就学援助要綱の一部改正について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人事異動について ・教育委員会事務局職員の人事異動について ・教育委員会事務局の分掌事務について ・各課別報告 		
会 議	平成21年 第5回定例教育委員会	開会日	平成21年5月15日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度町立学校(園)計画訪問の実施日程について ・三郷町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について ・三郷町立幼稚園の保育料等徴収条例施行規則の一部改正について ・三郷町社会教育委員会議運営に関する規則の一部改正について ・三郷町社会教育委員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評議員報告について ・財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について ・受動喫煙防止対策について ・新型インフルエンザについて ・各課別報告 		
会 議	平成21年 第6回定例教育委員会	開会日	平成21年6月25日(木)
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年第2回(6月)定例議会の結果報告について ・給食費の滞納状況について ・平成21年度地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業について ・各課別報告 		
会 議	平成21年 第7回定例教育委員会	開会日	平成21年7月20日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業の取組状況について 		
会 議	平成21年 第8回定例教育委員会	開会日	平成21年8月17日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度町立学校(園)運動会・体育大会の実施日程について ・平成22年度三郷町立南畑幼稚園園児募集について ・教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況に関する点検及び評価に関する報告について ・中学校教科用図書の採択について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度町立学校(園)計画訪問の日程について ・各課別報告 		

会 議	平成21年 第9回定例教育委員会	開会日	平成21年9月25日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について ・就学校の変更要件について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年第3回(9月)三郷町議会定例会について ・給食センターの蒸気ボイラーの停止について ・町立学校(園)における新型インフルエンザの状況について ・学校支援地域本事業の実施状況について ・平成21年度人権教育地区別懇談会の実施日程について ・図書館の利用状況について ・各課別報告 		
会 議	平成21年 第4回臨時教育委員会	開会日	平成21年10月1日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町教育委員会委員長及び職務代理者の選任について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度全国学力・学習状況調査結果について 		
会 議	平成21年 第10回定例教育委員会	開会日	平成21年10月29日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について ・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について ・平成22年三郷町成人式の開催について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度三郷町立南畑幼稚園の園児募集状況について ・町立学校(園)における新型インフルエンザの状況について ・各課別報告 		
会 議	平成21年 第11回定例教育委員会	開会日	平成21年11月20日(金)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度三郷町立南畑幼稚園の抽選結果について ・三郷町スポーツセンター及び三郷町ウォーターパークの指定管理者の指定について ・各課別報告 		
会 議	平成21年 第12回定例教育委員会	開会日	平成21年12月21日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> ・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について 		
報告	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食材料費の滞納整理状況について ・三郷町スポーツセンター及び三郷町ウォーターパーク指定管理者の指定について ・各課別報告 		

会 議	平成 2 2 年 第 1 回臨時教育委員会	開会日	平成 2 2 年 1 月 5 日 (火)
議案	・ 三郷町心身障害児就学指導員会への諮問について		
会 議	平成 2 2 年 第 1 回定例教育委員会	開会日	平成 2 2 年 1 月 1 8 日 (月)
議案	・ 平成 2 1 年度卒業 (園) 式及び平成 2 2 年度入学 (園) 式について ・ 三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について		
報告	・ 各課別報告		
会 議	平成 2 2 年 第 2 回定例教育委員会	開会日	平成 2 2 年 2 月 1 5 日 (月)
議案	・ 三郷町立学校の学校評議員に関する要綱の一部改正について ・ 三郷町立図書館条例施行規則の一部改正について		
報告	・ 各課別報告		
会 議	平成 2 2 年 第 3 回定例教育委員会	開会日	平成 2 2 年 3 月 2 3 日 (火)
議案	・ 学校評議員の委嘱について ・ 三郷町体育指導委員の委嘱について		
報告	・ 平成 2 2 年度予算案の概要について ・ 平成 2 2 年度町立学校 (園) の教育課程について ・ 各課別報告		

Ⅲ 施策及び事業の点検・評価

1. 点検・評価の項目

平成21年度実施分の点検及び評価にあたり、より効率的で実効性のあるものにするため、今年度から項目及び方法を抜本的に見直しました。

まず、「三郷町第4次総合計画」を再検証し、その施策体系を網羅するように見直しを行い、次頁の表のとおり、20の「点検・評価項目」を設定しました。

また、点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法・結果について、PDCAサイクル(※)に従って詳細に記載できるようにするとともに、成果指標と決算額を示すこととし、成果とコストを明らかにするようにしました。

2. 点検・評価結果の内容

各項目は、1 基本事項、2 事業概要・目的、3 事業実績・結果、4 点検評価・課題、5 改善方法・結果、6 今後の計画・方向性に分類しています。

【基本事項】

→施策の名称、担当課、総合計画の位置づけ及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

【事業概要・目的】

→各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

【事業実績・結果】

→実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、平成21年度実績です。

【点検評価・課題】

→事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。
また、課題については、継続的な課題とともに、平成21年度における新たな課題に分類して記載しています。

【改善方法・結果】

→継続的な課題に対する改善方法及び結果と新たな課題に対する改善方法の検討について記載しています。

【今後の計画・方向性】

→事業の今後の方向性と計画について記載しています。

※PDCAサイクル

計画(PLAN)→実行(DO)→点検(CHECK)→見直し(ACTION)の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

三郷町第4次総合計画との対応関係

【総合計画の施策方針】

第1章 いきいきと笑顔で暮らせるまちをつくろう

第1節 子育て支援の充実

④親と子の学びと成長への支援 →⑪

第2節 学校教育の充実

①学校施設の整備 →①

②教職員の資質向上 →②

③情報化・国際化に対応した教育環境の整備 →⑤

④学校給食体制の整備 →⑨

⑤「いじめ」や不登校児童・生徒に対する対策の充実 →⑥

⑥学校や登下校時の安全確保 →⑧

⑦地域とともにつくる豊かな学校教育 →⑦

⑧子どもの非行防止 →⑬

第3節 生涯学習・文化活動の振興

①生涯学習推進体制の充実 →⑫

②文化センターの充実 →⑮

③文化活動団体への支援 →⑯

④図書館の充実 →⑰

第4節 生涯スポーツと健康づくりの振興

①自主的なクラブ・サークルやスポーツ団体の育成 →⑲

②青少年スポーツ活動の振興 →⑲

③総合型地域スポーツクラブの育成 →⑲

④障害者のスポーツ活動の充実 →⑳

⑤総合スポーツ施設の整備 →⑳

第6節 障害者の自立支援

③教育・育成支援の充実 →④

第2章 みどり豊かな美しいまちをつくろう

第4節 歴史的環境の保全

①文化財の保護と活用 →⑱

②民間団体による調査や歴史にふれる機会づくり →⑱

③歴史的資料の発掘と保全・管理 →⑱

第4章 みんなで協働するまちをつくろう

第1節 人権の尊重

①人権尊重の啓発 →⑭

②相談の充実 →⑭

【点検・評価項目】

①学校施設の整備 ←1. 2-①

②教職員研修の充実 ←1. 2-②

③就園・就学の支援

④特別支援教育の推進 ←1. 6-③

⑤情報・国際教育の推進 ←1. 2-③

⑥いじめ・不登校の対策 ←1. 2-⑤

⑦地域の教育力の向上 ←1. 2-⑦

⑧安全・安心の学校づくり ←1. 2-⑥

⑨学校給食体制の整備 ←1. 2-④

⑩幼児教育の充実

⑪放課後児童クラブの充実 ←1. 1-④

⑫生涯学習の推進 ←1. 3-①

⑬青少年の健全育成 ←1. 2-⑧

⑭人権教育・啓発の推進 ←4. 1-①②

⑮文化センターの充実 ←1. 3-②

⑯文化活動への支援 ←1. 3-③

⑰図書館の充実 ←1. 3-④

⑱文化財の保護と活用 ←2. 4-①②③

⑲生涯スポーツの推進 ←1. 4-①②③

⑳スポーツ施設の整備 ←1. 4-④⑤

1. →は、総合計画の施策方針と評価項目の対応関係を示す。

2. ←は、点検・評価項目と総合計画の施策方針の対応関係を示す。

凡例：1. 1-①＝第1章・第1節の①

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①学校施設の整備	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の①
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設の耐震性を確保します。 誰もが利用しやすい環境とするため、施設の整備を行います。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設は、園児・児童・生徒の学習及び生活の場であるとともに、地域の災害避難所にも指定されていることから、施設の安全性を確保する。 施設の老朽化に伴う補修・改修工事を年次計画に沿って実施し、良好な教育環境を維持する。 小中学校の教室には、冷房設備がないため、各教室に扇風機を設置する。 当町では、指定対象施設の耐震化については、既に100%を達成しているが、木造平屋の南畑幼稚園の耐震補強について耐震診断を実施し、補強改修工事に係る実施設計を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<p>○学校施設の耐震化の状況</p> <p>※対象：非木造2階建以上、又は延べ床面積200㎡以上</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐震化対象棟数：20棟（南畑幼稚園1、三郷小学校6、三郷北小学校5、三郷中学校8） 耐震化率：100% 																	
	<p>○各学校・園の施設整備状況（主な補修工事等、事業費100,000円以上）</p>																	
	<p>【三郷小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北棟ハト侵入防止対策工事</td> <td>304,500</td> </tr> <tr> <td>給食室通路屋根設置工事</td> <td>178,500</td> </tr> <tr> <td>南館1階給水修理工事</td> <td>283,500</td> </tr> <tr> <td>その他補修・修繕工事</td> <td>365,457</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,131,957</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	北棟ハト侵入防止対策工事	304,500	給食室通路屋根設置工事	178,500	南館1階給水修理工事	283,500	その他補修・修繕工事	365,457	合計	1,131,957					
	工事名称	事業費(円)																
	北棟ハト侵入防止対策工事	304,500																
	給食室通路屋根設置工事	178,500																
	南館1階給水修理工事	283,500																
	その他補修・修繕工事	365,457																
	合計	1,131,957																
	<p>【三郷北小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>グラウンド整備工事</td> <td>298,830</td> </tr> <tr> <td>南館1階給水管漏水復旧工事</td> <td>120,750</td> </tr> <tr> <td>児童トイレブース取替工事</td> <td>735,000</td> </tr> <tr> <td>その他補修・修繕工事</td> <td>292,187</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,446,767</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	グラウンド整備工事	298,830	南館1階給水管漏水復旧工事	120,750	児童トイレブース取替工事	735,000	その他補修・修繕工事	292,187	合計	1,446,767					
工事名称	事業費(円)																	
グラウンド整備工事	298,830																	
南館1階給水管漏水復旧工事	120,750																	
児童トイレブース取替工事	735,000																	
その他補修・修繕工事	292,187																	
合計	1,446,767																	
<p>【三郷中学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員室改修工事</td> <td>362,250</td> </tr> <tr> <td>トイレ修繕工事</td> <td>340,200</td> </tr> <tr> <td>教室窓枠改修工事</td> <td>126,000</td> </tr> <tr> <td>教室エアコン配管工事</td> <td>199,500</td> </tr> <tr> <td>E棟教室扉・プール管理室扉改修工事</td> <td>228,900</td> </tr> <tr> <td>コンピュータ室エアコン修理</td> <td>219,975</td> </tr> <tr> <td>その他補修・修繕工事</td> <td>1,168,860</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,645,685</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	職員室改修工事	362,250	トイレ修繕工事	340,200	教室窓枠改修工事	126,000	教室エアコン配管工事	199,500	E棟教室扉・プール管理室扉改修工事	228,900	コンピュータ室エアコン修理	219,975	その他補修・修繕工事	1,168,860	合計	2,645,685
工事名称	事業費(円)																	
職員室改修工事	362,250																	
トイレ修繕工事	340,200																	
教室窓枠改修工事	126,000																	
教室エアコン配管工事	199,500																	
E棟教室扉・プール管理室扉改修工事	228,900																	
コンピュータ室エアコン修理	219,975																	
その他補修・修繕工事	1,168,860																	
合計	2,645,685																	
<p>【南畑幼稚園】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保育室洋式便器設置工事</td> <td>180,915</td> </tr> <tr> <td>通園バス修繕</td> <td>135,923</td> </tr> <tr> <td>その他補修・修繕工事</td> <td>174,047</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>490,885</td> </tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	保育室洋式便器設置工事	180,915	通園バス修繕	135,923	その他補修・修繕工事	174,047	合計	490,885								
工事名称	事業費(円)																	
保育室洋式便器設置工事	180,915																	
通園バス修繕	135,923																	
その他補修・修繕工事	174,047																	
合計	490,885																	
<p>○小中学校教室扇風機設置工事</p> <p>①工事概要：夏期の体感温度を低下させ、授業に集中できるよう、各教室に扇風機を設置した。 （天井設置式・教室前後中央に均等配置）</p>																		
<p>②設置台数：三郷小学校 70台（普通教室24教室・48台、特別教室9教室・22台）：2,588,250円 ・事業費 三郷北小学校 60台（普通教室17教室・34台、特別教室9教室・26台）：2,616,600円 三郷中学校 48台（普通教室13教室・26台、特別教室8教室・22台）：1,974,000円 合計 178台（普通教室54教室・108台、特別教室26教室・70台）：7,178,850円</p>																		
<p>○南畑幼稚園耐震診断及び補強改修実施設計</p> <ul style="list-style-type: none"> 木造平屋建ての南畑幼稚園について、安全性を確保するため、耐震診断を実施し、補強改修工事に係る実施設計を行った。（設計金額：1,890,000円） 工事については、平成22年度の夏期休業中に行う。 																		

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・財政状況を勘案しながら、各施設において、緊急かつ必要な改修・補修を実施したが、老朽化・経年劣化により、今後も改修・補修が随時必要である。 ・学校からの要望が強かった扇風機の設置を行った。 ・耐震化指標の対象外となっている南畑幼稚園についても、安全性を確保するため、耐震診断と補強改修工事を行うこととし、実施設計が完了した。					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	学校施設耐震化状況(対象施設)	耐震化率	%	100	100	H20.....0 H21.....0
	各学校・園補修・改修工事 (扇風機設置及び幼稚園耐震工事除く)	補修・改修件数	件	59	64	H20.....6,504,738 H21.....5,715,294
						H20..... H21.....
						H20..... H21.....
						H20..... H21.....
③事業の課題	【継続的な課題】 ①老朽化・経年劣化による改修・補修が必要な施設が多くあり、随時対応していくこと。 ②木造平屋建ての南畑幼稚園の耐震化工事を進める。					
	【新たな課題】 ①町内小中学校・園の中で、中学校については、特に、老朽化が進んでおり、保護者からも施設整備の要望が多いため、財源の確保に努めながら、随時補修・改修を進める。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①改修・補修が必要な施設については、財政状況を勘案しながら、必要な整備を進める。 ②南畑幼稚園については、平成22年度中に耐震補強及び施設の改修工事を完了する。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 ①三郷中学校については、予算要求時に年次計画を作成し、優先順位に基づいて、順次工事を実施する。平成22年度は、消防用受信機改修工事等を進める。(中学校工事予算額：8,000,000円)					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)				
	☒ 見直し	(内容)	☒ 予算拡充	☐ 予算削減	☒ 事業拡大	☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止
・今後も、財政状況を勘案しながら、優先順位を設定し、必要な整備を進める。 ・平成22年度は中学校の工事費を拡充する。 ・南畑幼稚園の耐震補強及び施設改修工事を平成22年度8月末までに完了する。						

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	②教職員研修の充実	担当課名	教育総務課 (南畑幼稚園)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の②
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県などの関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校 <ul style="list-style-type: none"> ・初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施し、実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。県の研修に加え、町において、年間に2回研修を実施する。 ・発達障害等の特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。 ○幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> ・生駒郡内5園で組織される生駒郡幼稚園教育研究会及び奈良県幼稚園教育研究協議会において、公開保育や研究協議等を行う。 ・幼稚園教員研修及び特別支援教育研修を随時行い、教員の資質向上を図る。 ○県実施研修への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校 <ul style="list-style-type: none"> 【初任者研修】 ・研修対象者 1人 <ul style="list-style-type: none"> ①第1回市町村実施初任者研修 <ul style="list-style-type: none"> 内容 平群町内自然観察 平群町古墳巡り ②第2回市町村実施初任者研修 <ul style="list-style-type: none"> 内容 学校運営及び生徒指導諸問題等について 教材・教具作り 【特別支援教育研修会】 ・10月8日に三郷町文化センターで実施を予定していたが、新型インフルエンザ拡大防止のため、中止となった。 ○幼稚園 <ul style="list-style-type: none"> 【生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会】 内容 生駒郡5園の保育について、実践事例をもとにした研究協議。 ※6月に平群幼稚園において公開保育を実施。 回数 年間4回 【幼稚園教員研修】 内容 毎週水曜日の保育終了後、職員研修を実施し、保育内容や行事等の役割の共通理解に努める。 回数 年間を通じて週1回 【特別支援教育研修】 内容 園内において職員間の連携を図り、指導内容の理解を深める。 回数 随時 ○県実施研修への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・初任者研修、10年経験者研修など、教職員のライフステージに対応した研修への参加。 参加人数：初任者研修 3人 10年経験者研修 2人 ・教職経験に応じたステージ別研修への参加。 参加人数：56人(延べ) ・学校事務職員のスキルアップ研修講座への参加。 参加人数：1人
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 教材作りなど実践的な研修は、すぐに授業で活用できるものであり、参加者にも好評であった。また、クラス運営だけでなく、学校運営などについても研修を行い、学校を多面的に考える良い機会となった。 <p>○幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会については、様々な研究会が組織され、各市町村の情報交換や研修を深める機会となっている。 幼稚園研修・特別支援教育研修については、教員間の情報共有を図るとともに、個別指導計画の作成に役立てることができた。
-------------	--

	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
②成果指標	初任者研修	研修回数(町実施)	回	2	2	H20.....0
						H21.....0
	特別支援教育研修会	参加人数	人	400	-	H20.....0
						H21.....0
	生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会	研修回数	回	8	4	H20.....0
						H21.....0
					H20.....	
					H21.....	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①教員の資質の向上に繋がる効果的な研修となるよう、内容を精査する必要がある。</p> <p>②幼稚園については、限られたスタッフ人員で、より質の高い保育・教育内容の充実が求められる。</p>
	<p>【新たな課題】</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①研修については、生駒郡で行うことから、4町の指導主事で協議して、内容を精査した。</p> <p>②幼稚園については、今後も教員間の情報共有を図りつつ、自己研鑽を積み重ねることが重要である。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	☒ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☐ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止
	・今後も研修内容を精査しながら、教職員の資質向上を図る。	

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	③就園・就学の支援	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	計画なし
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれることがないように、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校就学援助 <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。 ○高校入学支度金 <ul style="list-style-type: none"> ・高等学校、高等専門学校又は学校教育法に準じた高校への進学を容易にし、学習意欲を高めるため、入学支度金を給付する。 ○幼稚園就園奨励 <ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担の軽減及び公立・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、幼稚園教育の普及充実を図るため、町立幼稚園の保育料の減免及び私立幼稚園への就園奨励費補助金の交付を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○小中学校就学援助																								
	【要保護就学援助認定者】																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>受給者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> <th>※修学旅行費のみ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>8</td> <td>55,538</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>3</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>55,538</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	学校名	受給者(人)	就学援助費(円)	※修学旅行費のみ	三郷小学校	8	55,538		三郷北小学校	0	0		三郷中学校	3	0		合計	11	55,538					
	学校名	受給者(人)	就学援助費(円)	※修学旅行費のみ																					
	三郷小学校	8	55,538																						
	三郷北小学校	0	0																						
	三郷中学校	3	0																						
	合計	11	55,538																						
	【準要保護就学援助認定者】																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>受給者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> <th>給食費(円)</th> <th>援助費合計(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>88</td> <td>1,949,880</td> <td>3,603,600</td> <td>5,553,480</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>26</td> <td>516,994</td> <td>1,053,000</td> <td>1,569,994</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>90</td> <td>4,929,165</td> <td>3,972,900</td> <td>8,902,065</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>204</td> <td>7,396,039</td> <td>8,629,500</td> <td>16,025,539</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	受給者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)	三郷小学校	88	1,949,880	3,603,600	5,553,480	三郷北小学校	26	516,994	1,053,000	1,569,994	三郷中学校	90	4,929,165	3,972,900	8,902,065	合計	204	7,396,039	8,629,500
学校名	受給者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)																					
三郷小学校	88	1,949,880	3,603,600	5,553,480																					
三郷北小学校	26	516,994	1,053,000	1,569,994																					
三郷中学校	90	4,929,165	3,972,900	8,902,065																					
合計	204	7,396,039	8,629,500	16,025,539																					
○高校入学支度金																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>受給者(人)</th> <th>決算額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国公立</td> <td>20</td> <td>1,400,000</td> <td>1人につき 70,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>5</td> <td>1,000,000</td> <td>1人につき 200,000円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25</td> <td>2,400,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種別	受給者(人)	決算額(円)	備考	国公立	20	1,400,000	1人につき 70,000円	私立	5	1,000,000	1人につき 200,000円	合計	25	2,400,000										
種別	受給者(人)	決算額(円)	備考																						
国公立	20	1,400,000	1人につき 70,000円																						
私立	5	1,000,000	1人につき 200,000円																						
合計	25	2,400,000																							
○幼稚園就園奨励																									
<ul style="list-style-type: none"> ・町内に在住し、私立幼稚園に就園する3歳児から5歳児の保護者を対象に、所得に応じて補助金を支給。 																									
【私立幼稚園就園奨励費補助金】																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>園児区分</th> <th>受給者(人)</th> <th>就園奨励費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>45</td> <td>4,627,900</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>71</td> <td>5,592,000</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>58</td> <td>4,635,900</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>174</td> <td>14,855,800</td> </tr> </tbody> </table>	園児区分	受給者(人)	就園奨励費(円)	3歳児	45	4,627,900	4歳児	71	5,592,000	5歳児	58	4,635,900	合計	174	14,855,800										
園児区分	受給者(人)	就園奨励費(円)																							
3歳児	45	4,627,900																							
4歳児	71	5,592,000																							
5歳児	58	4,635,900																							
合計	174	14,855,800																							
<ul style="list-style-type: none"> ・町立幼稚園の保育料を負担することが困難な保護者に対して、減免措置を行った。 																									
【町立幼稚園保育料の減免】																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>園児区分</th> <th>減免者数(人)</th> <th>減免額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>2</td> <td>29,300</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2</td> <td>29,300</td> </tr> </tbody> </table>	園児区分	減免者数(人)	減免額(円)	3歳児	0	0	4歳児	0	0	5歳児	2	29,300	合計	2	29,300										
園児区分	減免者数(人)	減免額(円)																							
3歳児	0	0																							
4歳児	0	0																							
5歳児	2	29,300																							
合計	2	29,300																							
○上記制度の周知方法																									
<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校就学援助及び高校入学支度金については、各学校を通じて全保護者に案内した。 ・幼稚園就園奨励については、各園を通じて三郷町在住の保護者全員に案内した。 																									

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助は、小中学校合わせて215人が受給し、援助を必要とする保護者の経済的負担を軽減できた。 ・高校入学支度金については、平成21年度については継続支給としたが、厳しい財政状況の中、費用対効果を再度見直し、近隣市町村の状況も踏まえつつ、制度の是非について検討が必要である。 ・保護者負担の軽減及び公立・私立の幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るため、幼稚園就園奨励事業を実施し、私立幼稚園就園奨励費は174人が受給、町立幼稚園は2人に減免措置を行った。 					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	小中学校就学援助	受給者数	人	208	215	H20 15,198,919 H21 16,081,077
	高校入学支度金	受給者数	人	23	25	H20 2,130,000 H21 2,400,000
	幼稚園就園奨励	受給者及び減免者数	人	192	176	H20 14,780,000 H21 14,865,000
						H20 H21
					H20 H21	
③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①就学援助における審査判定基準（生活保護基準の1.3倍以下の所得）について、より保護者に分かりやすい判定基準への見直しを検討すること。</p> <p>②高校入学支度金について、私学入学者への給付の公平性、奨学金等の制度との重複の観点から、給付額の見直し、又は継続の是非を含めた検討を行うこと。</p>					
	<p>【新たな課題】</p> <p>①医療券については、就学援助の決定（7月頃）以降に発行しているが、現状では、決定前に医療機関を受診できないため、手続き方法や時期等について検討する必要がある。</p>					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①就学援助における審査判定基準は、平成21年度において近隣市町村を調査した結果、三郷町と同様の基準を適用しており、市町村間での均衡を考慮し、現行の基準が妥当と判断した。</p> <p>②高校入学支度金については、平成21年度中に制度の継続の是非について検討した結果、住民への周知期間も勘案し、平成22年度については継続支給とし、平成23年度以降廃止の方向とする。</p>					
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①医療券については、平成22年度から就学援助の決定前に発行できるよう、手続き・様式等の変更を行う。</p>					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)					
	☒ 見直し	(内容)	☐ 予算拡充	☐ 予算削減	☐ 事業拡大	☐ 事業縮小	☐ 手法見直し
<ul style="list-style-type: none"> ・就学援助及び幼稚園就園奨励については、現状どおり継続する。 ・高校入学支度金については、平成23年度以降廃止の方向で検討する。 							

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	④特別支援教育の推進	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第6節の③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、その持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進する。 ○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の幼児を持つ保護者に対し、障害等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を行う。 ○特別支援教育担当者連絡会 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の連携を目的に、情報交換や就学指導のあり方を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。 ○特別支援教育就学奨励費 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の収入額が一定額以下である場合、学用品費や学校給食費などの一部を援助する。
---------	--

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○特別支援教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援するため、町費による臨時講師等を各学校に配置した。 【配置講師数】 南畑幼稚園 3人 三郷小学校 3人 三郷北小学校 2人 三郷中学校 1人 合計 9人 ※正規職員(三郷北小学校1人、三郷中学校2人)を除く。 ○教育相談 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年7月に就学前の幼児を持つ保護者を対象として、斑鳩町中央公民館において生駒郡合同の教育相談会を行った。 【相談人数】 三郷小学校区 4人 三郷北小学校区 2人 合計 6人 ○特別支援教育担当者連絡会 <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の充実をはかるため、情報交換と小中学校の連携を図る場として、平成21年度から小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者による連絡会議を立ち上げ、定期的に連絡会を開催した。(年間6回) ○特別支援教育就学奨励費 <ul style="list-style-type: none"> 【就学奨励費認定者数】 三郷小学校 16人 三郷北小学校 9人 三郷中学校 7人 合計 32人 ※平成21年度決算額：1,127,796円
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町費による講師を各学校に配置したことにより、幼児・児童・生徒のニーズを細かく把握することができ、充実した教育を提供することができた。 ・就学前の相談では、事務局と特別支援担当の教員が相談を行うことにより、保護者の就学に対する不安を解消できた。園での生活の仕方や専門機関への斡旋等、幼児の現状に応じたアドバイスができた。 ・特別支援担当者連絡会議により、各小学校間、また、小中学校間の情報交換と連携が図られた。 ・特別支援教育就学奨励費では、特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担を軽減することができた。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	特別支援教育の推進	配置講師数	人	7	9	H20 17,118,246
						H21 22,861,343
	教育相談	相談人数	人	10	6	H20 0
						H21 0
	特別支援教育担当者連絡会	開催回数	回	0	6	H20 0
H21 0						
特別支援教育就学奨励費	就学奨励費認定者数	人	22	32	H20 774,236	
					H21 1,127,796	
						H20
						H21

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒は、年々増加する傾向にあり、人員配置を含め、今後も支援体制を強化する必要がある。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>①特別支援担当者連絡会については、今後、幼稚園・保育園や保健センターなどとも連携し、子どもの誕生から成長を見まもり、適切な支援を行う必要がある。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①特別に支援が必要な幼児・児童・生徒の増加に伴い、南畑幼稚園及び三郷北小学校に各1人ずつ講師を増員した。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①特別支援担当者連絡会については、参加対象を拡大し、必要に応じて幼稚園・保育園・保健センター等の担当者にも参加を呼びかける。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☒ 見直し	<p>(内容) ☒ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☒ 手法見直し ☐ 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増加する特別な支援が必要な発達障害の幼児・児童・生徒に対して、障害の程度によっては、普通学級の中で適切な支援ができるよう講師の配置に努める。 ・乳幼児を含めて子どもたちや保護者等の実態や状況の変化に対応し、総合的なサポート体制を確立する。

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑤情報・国際教育の推進	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・校内におけるLANの整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。 ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実に図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○校内LAN・教育用コンピュータの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校については、平成19年度に整備した教育用コンピュータ及び校内LANを活用し、積極的に情報教育を推進する。 ・三郷中学校については、老朽化している教育用コンピュータを入れ替え、校内LANの環境整備を行う。 ○ALT派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、三郷中学校を中心に、町内各学校にALTの派遣を行う。 ・南畑幼稚園では、幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、ALTとの交流会を行う。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○教育用コンピュータ等の設置状況 																																			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【三郷小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サーバ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (デスクトップ)</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (ノート)</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>プリンタ</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>液晶プロジェクタ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※整備年度：平成19年度 ※設置場所：南館2階パソコンルーム ※各教室に校内LAN整備</p> </div> <div style="width: 48%;"> <p>【三郷北小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サーバ</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (デスクトップ)</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (ノート)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>プリンタ</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>液晶プロジェクタ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※整備年度：平成19年度 ※設置場所：北館2階コンピュータ教室 ※各教室に校内LAN整備</p> </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○三郷中学校教育用コンピュータ及び校内LAN整備工事 老朽化したコンピュータシステムを入れ替えるとともに、校内LANの整備を行う。 <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 48%;"> <p>【三郷中学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サーバ</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (デスクトップ)</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>クライアントPC (ノート)</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>プリンタ</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>モバイルプロジェクタ</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 48%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費：25,477,200円 ・LAN：61室整備（普通教室、特別教室） ・設置場所：B棟4階コンピュータ室 </div> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ALT派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校に年間を通じてALT（1人）の派遣を行うとともに、小学校及び幼稚園にも派遣し、英語学習と異文化理解等の活動を行った。 <ol style="list-style-type: none"> ①三郷中学校：1～3年生（15クラス）各クラス年間35時間 ②三郷小学校：5年生（4クラス）・6年生（4クラス）各クラス年間15時間 ③三郷北小学校：5年生（3クラス）・6年生（2クラス）各クラス年間15時間 ④南畑幼稚園：園児との交流会（年間5回） <p>※LAN:Local Area Networkの略語。特定の場所や同一組織内での情報通信ネットワーク。</p> <p>※ALT:Assistant of Language Teacherの略語。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手。</p>	種類	台数	サーバ	1	クライアントPC (デスクトップ)	20	クライアントPC (ノート)	1	プリンタ	10	液晶プロジェクタ	1	種類	台数	サーバ	1	クライアントPC (デスクトップ)	15	クライアントPC (ノート)	6	プリンタ	10	液晶プロジェクタ	1	種類	台数	サーバ	2	クライアントPC (デスクトップ)	42	クライアントPC (ノート)	6	プリンタ	7	モバイルプロジェクタ
種類	台数																																			
サーバ	1																																			
クライアントPC (デスクトップ)	20																																			
クライアントPC (ノート)	1																																			
プリンタ	10																																			
液晶プロジェクタ	1																																			
種類	台数																																			
サーバ	1																																			
クライアントPC (デスクトップ)	15																																			
クライアントPC (ノート)	6																																			
プリンタ	10																																			
液晶プロジェクタ	1																																			
種類	台数																																			
サーバ	2																																			
クライアントPC (デスクトップ)	42																																			
クライアントPC (ノート)	6																																			
プリンタ	7																																			
モバイルプロジェクタ	3																																			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内LAN・教育用コンピュータの整備 <ul style="list-style-type: none"> ・中学校でコンピュータを入れ替えと校内LANの整備を行い、町内すべての学校で情報教育の充実を図るための環境が整った。 ○ALT派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・平成21年度は新学習指導要領の完全実施に向けた移行期間となっており、平成23年度からは、小学校5・6年生で外国語活動が必須となったため、小学校におけるALT派遣を各クラス15時間確保することとした。 ・ALT派遣により、英語学習はもとより、異なる文化・生活習慣に触れることで、国際理解教育へ活かされている。 ・中学校においては、生きた英語の音声に慣れることができ、生徒の英語学習への興味や関心を高めるとともに、教職員の英語教育に関する質の向上にもつながっている。
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
②成果指標	教育用コンピュータの整備	新PC設置台数(小中学校合計)	台	42	90	H20 0
						H21 25,477,200
	ALT派遣	ALTによる授業時間(小中学校合計)	時間	415	520	H20 4,454,100
						H21 4,920,300
						H20
					H21	
					H20	
					H21	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①老朽化した中学校におけるパソコンの入れ替え及び校内LANの整備。 ②平成23年度からの新学習指導要領完全実施に向け、小学校におけるALTの派遣時間を確保すること。 <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①中学校パソコン及びLAN整備については、平成21年度に着手し、完了した。 ②ALTの派遣については、財政状況を勘案しながら、最終的に平成23年度において、各クラス35時間を確保できるよう、派遣人数の増加を検討する。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☒ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☐ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育については、整備済みの校内LAN・パソコン環境を活用し、積極的な情報教育を推進する。 ・中学校及び幼稚園のALT派遣については現状どおり継続し、小学校については、平成23年度から施行される「新学習指導要領」において、小学校5・6年生を対象とした外国語活動が必修となることから、英語でのコミュニケーション能力の向上を踏まえつつ、財政状況も勘案しながら、派遣回数又は人数を増加する。 		

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑥いじめ・不登校の対策	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の⑤
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 小中学生を対象とした専門医によるメンタルヘルス相談や、中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。 教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラー いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。 ○心の相談員 生徒の悩み、不安、ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる心の相談員を中学校に配置する。 ○問題を抱える子ども等自立支援事業 不登校生徒を未然に防ぐ教育相談体制の在り方を調査研究するため、県の委託を受け、中学校に自立支援指導員を配置する。 ○メンタルヘルス相談業務委託 小中学生とその関係者のメンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健全な心身の保持増進に努める。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スクールカウンセラー <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 31日 相談ケース数 32件 主な相談内容 友人関係、学業、家族に関すること、生活全般など ※生徒へのカウンセリングのほか、保護者相談、教職員への助言も行った。 ○心の相談員 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ1人配置 年間勤務日数 89日 相談ケース数 50件 主な相談内容 自分の性格、友人関係、学業など ○問題を抱える子ども等自立支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷中学校へ自立支援指導員を1人配置 年間勤務日数 55日 ※学習室に登校する生徒への学力支援を行った。 ○メンタルヘルス相談 <ul style="list-style-type: none"> ・ハートランドしぎさんに委託し、専門機関による相談を行った。 相談ケース数 128件 主な相談内容 不登校、問題行動、家族関係など <p>※不登校：年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの。</p>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・平成21年度の不登校児童生徒数は、24人であった。 ・いじめや不登校、その他生徒の抱える問題が多様化してきた中で、三郷中学校では、 ①生徒の悩みを気軽に相談できる心の相談員の配置 ②より専門なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置 ③教室に入りにくい生徒を学習室に登校させ、そこで学習面の支援を行う自立支援指導員の配置 ④専門機関での相談を行うためのメンタルヘルス相談業務の委託 と、その生徒の状況に応じた相談体制や支援体制の整備を行うことができた。 ・小学校においても、児童の悩み等を教師が親身になって相談に乗り、必要に応じてメンタルヘルス相談を紹介し、専門機関での相談へと引き継ぐ体制ができている。					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	スクールカウンセラー	相談ケース数	件	17	32	H20 0 H21 0
	心の相談員	相談ケース数	件	44	50	H20 800,000 H21 799,689
	問題を抱える子ども等自立支援事業	勤務日数	日	109	55	H20 902,450 H21 485,115
	メンタルヘルス相談業務委託	延べ相談件数	件	36	128	H20 600,000 H21 600,000
						H20 H21
③事業の課題	【継続的な課題】 ①不登校児童・生徒などを孤立させない対策として、地域の人材を活用したフリースクールや適応指導教室等の活用について検討する。					
	【新たな課題】 ①問題を抱える子ども等自立支援事業が平成21年度で終了するため、新たな体制づくりが必要である。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①フリースクールや適応指導教室等の設置については、町単独では困難であり、今後必要性を含めた議論を生駒郡等の広域で行うとともに、学校支援ボランティアの活用も検討する。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 ①問題を抱える子ども等自立支援事業に代わる補助事業を調査し、学習室登校による支援を実施する。					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☒ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☒ 手法見直し ☐ 休止・廃止 ・問題を抱える子ども等自立支援事業が終了することから、学習室登校における支援を実施する。

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑦地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課 (生涯学習課)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の⑦
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。 ・まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。 ・学校の環境美化や緑化などについて、各種団体や地域ボランティアの参加が得られるように図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども人権学習支援事業 <ul style="list-style-type: none"> ・少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、さまざまな子どもの活動を支援する事業を実施し、地域の教育力の向上を図る。 ・各小中学校において、地域ボランティアの指導のもと、和太鼓、茶華道、ゲートボールなどさまざまな体験学習を実施する。 ○学校支援地域本部事業 <ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動について、地域からボランティアを募り、学校の教育活動を支援する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○子ども人権学習支援事業 (活動実績)																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>活動名称</th> <th>学校名</th> <th>登録人数</th> <th>実施回数</th> <th>活動内容</th> <th>担当課</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どんどん和太鼓</td> <td>三郷中学校</td> <td>30人</td> <td>30回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>生涯学習課</td> </tr> <tr> <td>茶華道クラブ</td> <td>三郷中学校</td> <td>6人</td> <td>6回</td> <td>茶道・華道の体験</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>多聞クラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>10人</td> <td>10回</td> <td>ゲートボール体験</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>ふれあいクラブ</td> <td>三郷小学校</td> <td>39人</td> <td>10回</td> <td>和太鼓の演奏</td> <td>教育総務課・ふれあい交流センター</td> </tr> <tr> <td>親子で遊び隊</td> <td>三郷小学校</td> <td>70人</td> <td>1回</td> <td>デイキャンプ</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>にこやかクラブ</td> <td>三郷北小学校</td> <td>2人</td> <td>9回</td> <td>音楽演奏(リコーダー)</td> <td>教育総務課</td> </tr> <tr> <td>つながり学級</td> <td>三郷北小学校</td> <td>46人</td> <td>5回</td> <td>軽スポーツ、お茶、科学実験など</td> <td>生涯学習課</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各活動の指導には、地域住民や各種団体の方に協力をしていただいた。 ※新型インフルエンザの影響により、10月以降の活動が中止となり、町民文化祭や人権フェスタ等、大きなイベントに出演する機会がなかった。</p>	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課	どんどん和太鼓	三郷中学校	30人	30回	和太鼓の演奏	生涯学習課	茶華道クラブ	三郷中学校	6人	6回	茶道・華道の体験	教育総務課	多聞クラブ	三郷小学校	10人	10回	ゲートボール体験	教育総務課	ふれあいクラブ	三郷小学校	39人	10回	和太鼓の演奏	教育総務課・ふれあい交流センター	親子で遊び隊	三郷小学校	70人	1回	デイキャンプ	教育総務課	にこやかクラブ	三郷北小学校	2人	9回	音楽演奏(リコーダー)	教育総務課	つながり学級	三郷北小学校	46人	5回	軽スポーツ、お茶、科学実験など
活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課																																											
どんどん和太鼓	三郷中学校	30人	30回	和太鼓の演奏	生涯学習課																																											
茶華道クラブ	三郷中学校	6人	6回	茶道・華道の体験	教育総務課																																											
多聞クラブ	三郷小学校	10人	10回	ゲートボール体験	教育総務課																																											
ふれあいクラブ	三郷小学校	39人	10回	和太鼓の演奏	教育総務課・ふれあい交流センター																																											
親子で遊び隊	三郷小学校	70人	1回	デイキャンプ	教育総務課																																											
にこやかクラブ	三郷北小学校	2人	9回	音楽演奏(リコーダー)	教育総務課																																											
つながり学級	三郷北小学校	46人	5回	軽スポーツ、お茶、科学実験など	生涯学習課																																											
	○学校支援地域本部事業																																															
	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、平成20年度から3年間の文部科学省委託事業であり、2年目の平成21年度は、各学校の要望を取りまとめ、地域ボランティアを広報等で募集し、本格的にボランティア活動がスタートした。 ・ボランティアの登録後、各学校で受け入れ体制を整備し、準備できたものから学校支援ボランティア活動を行った。 ・1学期は環境整備や緑化推進を中心に、2学期からは学習支援も本格的にスタートした。 <p>〈主な活動実績〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三郷小学校：図書の整理、貸し出し、本の読み聞かせ、除草作業、遊具塗装、園芸作業、家庭科実習、昔遊び、囲碁、卓球指導など ・三郷北小学校：奥山の整備、椅子・机の入れ替え、外国語支援、家庭科実習、パソコン指導補助、本の読み聞かせ、花壇の整備など ・三郷中学校：図書の紹介、貸し出し、家庭科実習、校舎内生け花の設置、小菊栽培など <p>〈ボランティア登録人数〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人登録：78人 団体登録：106人 合計184人 <p>〈その他〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア説明会の開催（事業の趣旨や活動内容の説明と研修）：参加者53人 ・ボランティア成果報告会（ボランティア活動報告、学校からの謝意、県の指導・助言）：参加者60人 																																															

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな体験を通して、学年間の交流や目標に向かって努力する姿勢を学ぶことができた。 ・地域の方との触れ合いは、子どもと地域社会を結びつける貴重な機会として、地域の教育力向上に貢献している。 ・新型インフルエンザの影響により、多くの活動が中止になり、当初計画の半分程度の実施になった。 <p>○学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初の予想を超えるボランティア登録があり、数多くのボランティア活動を行うことができた。 ・日常的に地域のボランティアと触れあうことにより、子どもたちの学習・生活面で良い影響を及ぼしている。 ・環境整備など、一部の活動では、十分なボランティアの人数が確保できていない。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
		子ども人権学習支援事業	参加人数(のべ)	人	22,890	14,413
H21.....1,159,037						
	学校支援地域本部事業	ボランティア登録人数	人	0	184	H20.....838,845
		ボランティア参加人数(各学校計・のべ人数)	人	0	1,460	H21.....1,966,000
						H20.....
						H21.....
						H20.....
						H21.....

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①子ども人権学習支援事業において、参加人数が増えた場合の子どもたちの行き帰りの送迎をどうするか。</p> <p>②地域のコーディネーターを確保すること。</p> <p>③学校支援ボランティアの登録人数を増やすこと。</p> <p>④幅広い意見を集約する観点から、実行委員会委員に町立学校の保護者に就任していただくこと。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①子ども人権学習支援事業の参加人数が少ない活動の内容及び募集方法の見直し。</p> <p>②各学校に登録している学校支援ボランティアの学校を超えたボランティア相互の交流の機会の設定。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①送迎については、人数が想定内であったので、問題なく行うことができた。</p> <p>②地域のコーディネーターについては、基本的に従来の方をお願いして確保するとともに、新たに各種団体にも協力をお願いした。</p> <p>③学校支援ボランティアの募集は、年度当初に加え、12月にも追加募集を行った。</p> <p>④実行委員会については、各学校のPTAからそれぞれ1人を推薦していただいた。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①子ども人権学習の活動内容や対象学年を見直し、より多くの子どもたちが参加できるようにする。</p> <p>②ボランティア相互の交流の機会として、ボランティア説明会や成果報告会に加え、研修会などを設けることを検討する。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☒ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☒ 手法見直し ☐ 休止・廃止
	<p>・子ども人権学習支援事業は、内容を一部見直した上で、継続する。</p> <p>・学校支援地域本部事業については、今年度の活動実績を基に、ボランティア活動をさらに充実させる。</p> <p>・ただし、平成22年度で3年間の国の委託期間が終了し、平成23年度から補助事業に変わることが予想されるため、予算や実行委員会のあり方などを含め、今後の計画を策定する必要がある。</p>	

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑧安全・安心の学校づくり	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の⑥
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見まもり活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。 子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信を充実し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。 園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。 				

2 事業概要・目的(PPLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども情報ネットさんごう <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全確保をめざし、不審者情報等を携帯電話等にメール配信する。 ○さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> 学校と地域の連携により、自治会を中心とした住民ボランティアにご協力いただき、登下校時の通学路の巡視を行う。 合わせて、(社)シルバー人材センターに委託し、小学校の下校時に安全巡視員を通学路に配置し、児童の安全確保を図る。 ○青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 小中学校の下校時に合わせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施する。 ○防犯・交通安全教室 <ul style="list-style-type: none"> 小学校及び幼稚園において、警察の協力により、防犯・交通安全教室を開催する。 ○子ども110番の家(町長部局生活環境課所管) <ul style="list-style-type: none"> 子どもが犯罪などの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めたとき、子どもを保護し、関係機関へ連絡するなどして、子どもの安全を守る。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども情報ネット配信状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>件数</th> <th>町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>11</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>20</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※町内件数は、三郷町内で発生した不審者情報。</p> ○さんごう子ども見まもり隊 <ul style="list-style-type: none"> 【見まもり隊登録団体及び登録者数】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会</td> <td>12</td> <td>133</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>15</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>町関係</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37</td> <td>435</td> </tr> </tbody> </table> ○下校時巡視委託 <ul style="list-style-type: none"> 通学路の危険箇所安全巡視員(シルバー人材センター)を配置し、各学校の登下校時及び放課後児童クラブの下校時における交通指導及び巡視を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷小学校 : 4人(うち放課後児童クラブ1人) ②三郷北小学校 : 3人(うち放課後児童クラブ1人) ○青色防犯パトロール <ul style="list-style-type: none"> 子どもの安全を守るため、小中学校の下校時に合わせて、役場全課の交代制により、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷小学校校区 : 年間42回 ②三郷北小学校校区 : 年間43回 ○防犯教室など <ul style="list-style-type: none"> 警察やNPOなどの協力により、各学校・幼稚園で、防犯教室を開催した。 警察の協力により新小学校1年生に防犯ベルを配布した。 ○子ども110番の家 <ul style="list-style-type: none"> 登録世帯数 : 660世帯(自治会、学校関係、各種団体など) 	不審者内容	件数	町内件数	声掛け	11	5	つきまとい	4	2	露出	1	0	痴漢	1	0	盗撮	2	0	傷害・犯罪	1	1	不審電話	0	0	合計	20	8	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会	12	133	学校関係	7	108	各種団体	15	169	町議会	1	10	町関係	1	9	その他	1	6	合計	37	435	<ul style="list-style-type: none"> 【配信内容】 <ul style="list-style-type: none"> 三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報をメールで配信する。 【メール登録人数】 <ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の保護者、各種団体、関係団体など合わせて920人。(平成22年3月現在) 【子ども安全対策連絡会議】 <ul style="list-style-type: none"> 地域との連携及び情報交換を図る場として、子ども安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。
	不審者内容	件数	町内件数																																																		
声掛け	11	5																																																			
つきまとい	4	2																																																			
露出	1	0																																																			
痴漢	1	0																																																			
盗撮	2	0																																																			
傷害・犯罪	1	1																																																			
不審電話	0	0																																																			
合計	20	8																																																			
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																																																			
自治会	12	133																																																			
学校関係	7	108																																																			
各種団体	15	169																																																			
町議会	1	10																																																			
町関係	1	9																																																			
その他	1	6																																																			
合計	37	435																																																			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ・子どもの安全対策に町全体の取り組みとして実施した結果、平成21年度においては、子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害の発生はなかった。 ・ただし、不審者として寄せられる情報は減少していないため、今後さらに地域と連携した子どもの見まもりが必要である。 ・子ども情報ネットの登録人数は、広報等で周知した結果、前年度から増加した。 ・防犯教室は、児童や園児による参加型の研修を毎年実施しており、自分の身を守ることに對する良い意識づけの機会となっている。					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	889	920	H20 381,000
						H21 378,000
	子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数(累積人数)	人	400	435	H20 0
						H21 0
	巡視委託	巡視回数(両小学校年間合計・のべ回数)	回	2,446	2,398	H20 2,035,780
H21 1,995,804						
青パト	パトロール回数	回	92	85	H20 0	
					H21 0	
					H20 0	
					H21 0	
③事業の課題	【継続的な課題】 ①子ども情報ネットの登録人数が頭打ち傾向にあるため、周知方法の検討を行う。 ②子ども見まもり隊について、個人単位でより幅広く柔軟な活動ができる学校支援ボランティアへの登録者を増やす。 ③放課後児童クラブの下校時に見まもり隊の参加が少ない。					
	【新たな課題】 ①子ども見まもり隊について、協力団体により温度差があり、一部団体で負担が大きくなっている。 ②学校支援ボランティアの登録を増やし、活用を図ること。					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①子ども情報ネットについては、町広報に定期的に協力依頼を掲載するとともに、チラシを作成し、窓口等で配布した。 ②ボランティアの登録については、子ども安全対策連絡会議や学校を通じて、登録を呼びかけた。(12人登録) ③放課後児童クラブの見まもりについては、子ども安全対策連絡会議等で、協力していただくようお願いした。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 ①子ども見まもり隊は、強制ではないので、事業の趣旨を理解していただくよう努めるとともに、PTA等にも積極的な協力をお願いする。 ②学校支援ボランティアについては、他の活動分野で登録しているボランティアにもお願いして、登録人数を増やす。					

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	☒ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)					
	☐ 見直し	(内容)	☐ 予算拡充	☐ 予算削減	☐ 事業拡大	☐ 事業縮小	☐ 手法見直し
・今後も町全体の取り組みとして、地域との連携を図り、事業を実施する。 ・子ども情報ネットや子ども見まもり隊への協力依頼や周知方法を検討し、登録人数を増やすよう努力する。							

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑨学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (教育総務課)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の④
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化が進んでいる学校給食センターについて、建て替え事業を進めます。 ・「学校給食衛生管理基準」に則り、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。 ・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心の学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・職場の衛生管理そして職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する観点から、より多くの地場産の野菜等を使用して安全安心の学校給食を提供する。 ・職員の資質向上を図るため、県の調理員研修に参加する。 ○食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、食の指導の充実を図る。 ○給食センターの建替 <ul style="list-style-type: none"> ・開所以来、30年余りが経過し、施設、設備等の老朽化が著しいため、給食センターの建替事業を実施する。
---------	--

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○安全安心の学校給食 <ul style="list-style-type: none"> ・町内公立幼稚園・小中学校において、センター方式による学校給食を実施している。また、幼稚園・小学校で保護者を対象に給食試食会を実施し、234人が参加した。 ・児童生徒に安全・安心な学校給食を提供するため、できる限り、国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村の旬の野菜を積極的に使用した。 ・国の学校給食地場農畜産物利用促進事業を実施して、奈良県産品の使用に努めた。 ・県が実施している調理員研修にも積極的に参加して、職員の資質の向上に努めた。 ①学校給食衛生管理指導者実技講習会（7月） 参加人数：2人 ②学校給食調理員研修会（8月20日） 参加人数：7人 ③学校給食用牛乳料理講習会（8月25日・26日）参加人数：2人 ○食育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・食育については、各学校で食に関する指導の全体計画を作成し、実践している。具体的には、生活科・家庭科・総合的な学習の時間における食に関する指導や給食に関わる指導を実施した。 【内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・教科等授業時間数：27.5時間 ・給食指導時間数：3.5時間 ・個別指導その他：3回 ○給食費の滞納状況 <ul style="list-style-type: none"> ・給食費の滞納者に対しては文書等での督促、家庭訪問での徴収、奈良簡易裁判所へ支払督促の申立により滞納の解消に努めた。 【平成21年度末現在滞納状況】 <ul style="list-style-type: none"> ①滞納繰越額(平成14年度～平成20年度) 1,099,300円(25人) ②徴収額 830,500円(20人) ③不納欠損 91,800円(3人) ④平成21年度末滞納繰越額 177,000円(2人) ⑤平成21年度分滞納額(現年度分) 288,200円(10人) ☆平成21年度滞納繰越額(合計) 465,200円 ○給食センター建替事業 <ul style="list-style-type: none"> ・新給食センター建設について、給食センター建替事業実施設計をもとに、変更・修正も加えながら、地元自治会への説明会を4回程度実施した後、公聴会を実施した。 ・地元自治会の合意を得られるよう最大限努めたが、最終的に理解を得られず、建替事業は一時休止となり、建設場所を含めて再検討することとなった。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を実施できた。 ・調理員研修への参加により、平成21年度において1人が新たに調理師免許を取得した。(調理員9人中8人取得) ・給食試食会や食育指導事業を通じて、給食に対する理解が深められた。 ・給食費の滞納整理については、平成20年度末の滞納額1,099,300円から平成21年度末は465,200円となり、平成20年度末に比べて、634,100円減少となった。 ・給食センター建替事業については、平成20年度に基本設計委託、平成21年度において実施設計を発注したが、地元の理解が得られず建設事業を進めることはできなかった。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
		地場農畜産物利用促進事業	使用金額	円	500,000	1,000,000
	給食試食会	参加人数	人	204	234	H20 H21
	食育指導	延バクラス数	クラス	61	61	H20 H21
	給食費の滞納整理	滞納者数(年度末)	人	25	12	H20 1,099,300 H21 465,200
	給食センター建替事業	設計委託料	円	2,352,000	15,204,000	H20 2,352,000 H21 15,204,000

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①給食費の徴収については、過年度分は着実に減少しているが、現年度分は毎年30万円程度の繰越が発生しており、対策を考える必要がある。</p> <hr/> <p>【新たな課題】</p> <p>①給食センター建替事業について、早急に場所等の検討を行い、新給食センターの建設を検討する。</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①給食費の徴収については、平成22年度から子ども手当が支給されることから、保護者の協力を得て、支給口座から給食費を引き落とすように働きかけ、給食費の滞納を解消する。</p> <hr/> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①新たに建設される新給食センターについては、「新給食センター建設委員会」を設置して、場所、規模等の内容を早急に決定する。</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☒ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☒ 手法見直し ☐ 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地産地消を推進し、安全安心の学校給食を実施する。 ・給食費の滞納整理については、学校と連携・協力しながら、特に現年度分の未納解消に努める。 ・新給食センターについて、早急に具体案を策定する。 		

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩幼児教育の充実	担当課名	南畑幼稚園 (教育総務課)	総合計画位置づけ	計画なし
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・新幼稚園教育要領に基づく、適切な教育課程の編成を行います。 ・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を担う幼児教育の充実に努めます。 ・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者や地域に信頼される幼稚園をめざし、社会・文化・自然などに触れ、生活の豊かさを体験し、教育内容の充実を図るとともに、円滑に小学校へ移行できるようにする。 ・幼児一人ひとりの特性に応じ、発達の課題を見極め克服することに努める。 ・学校給食を通しての食育教育と、手作り弁当実施等による家庭における食育推進を図る。 ・子育てに不安を抱えている保護者に、幼稚園の機能を活かして預かり保育や園庭開放・園児相談を行い、子育て支援に努める。
---------	---

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<p>○幼稚園ウィーク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力の向上と地域に開かれた幼稚園づくりを目的に、地域の方と保護者が保育参加する幼稚園ウィークを実施した。(11月9日) <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3歳児：親子で地元の良さを知るために、信貴山寺周辺の散策を行った。 ・4歳児：親子でたまねぎの苗植えや看板づくりを行った。 ・5歳児：地域の方の指導による竹とワラのポックリづくりを親子で行った。 <p>○バザー及び模擬店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P.T.A事業として、協力体制や改善方法を協議しながら、7月の第1土曜日に実施した。 <p>○特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする園児への対応として、個別指導計画を作成し、保護者や関係機関との連携を図りながら、教員の指導力の向上に努めた。 <p>○食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回、手作り弁当日を設定し、保護者に食育の大切さを考えていただく機会とした。 ・5月にP.T.A人形劇「ともとも」の皆さんによる食育に関する人形劇を鑑賞した。 ・栄養教諭による保護者参加の食育に関する講演会を実施した。 ・5歳児が中心となり、地域の方の指導により園内菜園で野菜を育てた。 <p>○子育て支援及び預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育終了後に園庭を開放して園児の姿から保育内容の理解や子育て相談を行う「にこにこランド」を年10回実施した。 ・特別な事情(家族の通院や介護等、兄弟の授業参観等)で緊急又は臨時的に送迎時刻外保育が必要な場合に、個々の事情に応じて預かり保育を行った。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方や身近な人と関わる場を設定し、さまざまな体験を実施することで、園児の調和のとれた心身の発達を促すことができた。 ・PTA事業のバザー及び模擬店は、保護者の意識の違いにより、存続が危ぶまれたが、教育的意義から今後も必要であると再認識された。 ・園庭開放「にこにこランド」は、子育て相談に答える機会づくりとして役立てることができた。 ・預かり保育については、緊急又は臨時的な場合にのみ対応した。 					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	預かり保育	実施回数	回	24	28	H20.....0 H21.....0
	園庭開放「にこにこランド」	実施回数	回	8	10	H20.....0 H21.....0
						H20..... H21.....
						H20..... H21.....
						H20..... H21.....
③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①地域の実態や保護者の実情を考慮しながら、保育時間や日数、預かり保育について配慮すること。</p>					
	<p>【新たな課題】</p> <p>①バス通園（バス中の保育）に伴う、バス添乗等の人員確保。</p>					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①保育時間や預かり保育の弾力的運用については、現状のスタッフ体制では不可能であるため、人的配置を含めて今後の検討課題である。</p>					
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①バス添乗については、可能な限り現状のスタッフ体制で運用するよう努める。</p>					

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p>☒ 現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>					
	<p>☐ 見直し (内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止</p> <p>・今後も保護者や地域に信頼される幼稚園をめざし、教育内容の充実を図るとともに、教員の資質向上を図る。</p>					

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①放課後児童クラブの充実	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第1節の④
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 放課後や夏・冬休み時に子どもが集まって、学習や遊びを通して自主性や社会性・想像力を養えるよう放課後児童クラブを推進します。 放課後児童クラブにおいて、障害のあるなしに関わらず、ともに参加できるよう関係者の理解やボランティア活動の促進に努めます。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 保護者が労働等により昼間家庭において保育できない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的に、小学校の空き教室を利用して、町が運営主体となり、放課後児童クラブを設置する。 <p>①対象：町内小学校に就学している概ね10歳未満（1年生～4年生）の児童</p> <p>②名称：三郷小学校放課後児童クラブ（定員35人） 三郷北小学校放課後児童クラブ（定員70人）</p> <p>③開所時間：学校授業日 午後2時～午後6時 学校休業日 午前9時～午後6時</p> <p>④休所日：土、日曜日及び祝日（年末年始） ※7・8月を除く、第2土曜日は事前申込制により開所。</p> <p>⑤育成料：毎月5,000円（ただし、申請により減免措置あり。）</p>
---------	--

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<p>○入所人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>放課後児童クラブ名</th> <th>入所人数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校放課後児童クラブ</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校放課後児童クラブ</td> <td>56</td> </tr> </tbody> </table> <p>※入所人数は年間平均</p> <p>○製作</p> <ul style="list-style-type: none"> モノを作る楽しさ、自分で工夫し創造する楽しさを体感させるため、下記の製作を行った。また作品については、保護者等へのプレゼントにすることにより、日ごろの感謝の気持ちを表し、家族の絆を再確認できる機会となった。 ①春の製作：アートカップ ②クリスマス製作：寄せ植え ③正月製作：祝い箸 <p>○伝承遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本に古くから伝わる遊びを通じて、日本の文化を再認識し、また友だちと集団で遊ぶ楽しさを実感させるため、冬期に下記の伝承遊びを実施した。また、目標をクリアしていく達成感や児童のやる気を喚起させるため、検定票を作成し、成績上位者にはメダルの授与を行った。 ※こま、なわとび、けん玉 <p>○指導員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 指導員の資質の向上を図るため、県の児童福祉施設等職員研修（前期3回、後期2回）に参加した。 <p>○図書の購入</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の充実を図るため、児童用図書を購入し、各放課後児童クラブに設置した。 ①三郷小学校放課後児童クラブ 85冊 ②三郷北小学校放課後児童クラブ 85冊 <p>○育成料の減免</p> <ul style="list-style-type: none"> 低所得世帯の方を対象に、毎月の育成料の減免を行った。 ※減免者数：22人 <p>○特別な支援を要する児童の受け入れ及びボランティアの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後児童クラブでは、特別な支援を要する児童についても受け入れている。 夏期休業中、広報で募集した大学生のボランティア指導員（2人）の活用を図った。 	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	三郷小学校放課後児童クラブ	33	三郷北小学校放課後児童クラブ	56
放課後児童クラブ名	入所人数(人)						
三郷小学校放課後児童クラブ	33						
三郷北小学校放課後児童クラブ	56						

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の通常保育だけでなく、製作や伝承遊びなどを盛り込むことにより、マンネリ化の解消に努め、家庭でも話題にできるような活動を行うことができた。 県の研修は特別支援をテーマにしており、現在特別な支援を要する児童も入所していることから、有益な研修となった。 					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	放課後児童クラブ運営	入所人数 ※決算額は運営費	人	79	89	H20 11,932,031
						H21 13,393,574
	育成料の減免	減免者数	人	23	22	H20
						H21
図書購入	図書購入冊数	冊	0	170	H20 0	
					H21 169,260	
					H20	
					H21	
③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①運営主体が町となって1年半が経過し、円滑な運用ができるようになってきており、図書の購入など施設面の充実を図る必要がある。</p> <p>②三郷小学校放課後児童クラブは、定員の35人を超える可能性があるため、対応を検討する必要がある。</p> <p>③三郷北小学校放課後児童クラブで使用している1年生の空き教室は、今後クラス数の増加により、空き教室を学校へ返却しなければならない状況も考えられるため、単独施設の設置も含め、運営場所を検討する必要がある。</p> <p>④特別な支援を要する児童への対応も必要なことから、指導員の適切な人員配置と資質向上に努める。</p>					
	<p>【新たな課題】</p> <p>①両クラブとも平成22年度は定員を超え、待機者が発生したことから、対応を考える必要がある。</p>					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①施設充実を図るため、県の補助金を活用し、各クラブ85冊ずつ図書を購入し、整備を行った。</p> <p>②三郷小学校放課後児童クラブについては、一時期待機者も発生したが、退所者もあり、最終的には全員が入所できた。</p> <p>③三郷北小学校放課後児童クラブについては、今後の三郷北小学校の入学者数を調査し、対応方針を現在検討中である。</p> <p>④特別な支援を要する児童への対応として、該当児童が多い日は、通常以上に指導員を加配し、きめ細かな対応ができるよう努めた。また、県の研修を受講し、指導員の資質の向上に努めた。</p>					
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①待機者の対応として、放課後児童クラブの入所要件、抽選方法等を検討する。</p>					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)					
	☒ 見直し	(内容)	☐ 予算拡充	☐ 予算削減	☐ 事業拡大	☐ 事業縮小	☒ 手法見直し
<p>・放課後児童クラブのニーズは、年々増加しており、入所要件や抽選方法の見直しだけでなく、今後は施設の拡充についても、財政状況を勘案しながら、段階的に検討していく必要がある。</p>							

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑫生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の①
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。 知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制の構築を図ります。 各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○学習基盤の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生をおくることができるよう、多様な分野における学習活動の場を提供する。 ○地域住民等の人材の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に伴い活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。 ○各種学級事業 <ul style="list-style-type: none"> ・主体的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き住民ニーズに応じた各種学級を開講する。
---------	--

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	○学習基盤の整備	社会情勢や住民ニーズの情報を取り入れ、時代に沿った学習内容とする。				
	○各種学級の運営状況					
		学 級 名	目 的	事 業 内 容	学級生数	開催回数
		家庭教育学級	地域社会の中で、子どもの家庭教育の重要性や役割を認識し、子育て等に関する学習の機会を通して家庭の活性化を図るとともに、学級生のネットワーク機能を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講演会 ・調理学習 ・健康学習 ・軽運動 ・施設見学ほか 	27人	11回
		長寿学級	熟年者として時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を求め、自主的な学習活動を通じて生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・軽スポーツ ・歴史散歩 ・健康学習 ・教養講演会 ・施設見学ほか 	162人	12回
		くれない学級	教養を高め自主的・意欲的な学習活動を行い女性としての生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講座 ・歩く会 ・環境学習 ・健康学習 ・社会見学ほか 	47人	11回
		歴史教室	身近な歴史とふれあい、個々の知識を深め心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・現地学習ほか 	133人	15回
		みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ個々の知識を深めるとともに、町の歴史と文化についても関心をもち心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・講義 ・現地学習ほか 	64人	15回
	婦人学級	教養の向上と視野を広げるため、生涯学習として自主的に研修し、女性の生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> ・教養講演会 ・健康学習 ・男女共同参画研修 ・施設見学ほか 	48人	9回	
※上記学習のほか、6学級合同学習会として、7月に「人権学習会」、2月に「健康福祉学習会」を開催した。						

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○各種学習の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習学級として、「家庭教育学級」、「長寿学級」、「くれない学級」、「歴史教室」、「みさと万葉学習会」、「婦人学級」の6学級を開催した。 また、各学級の運営は各運営委員会により事業内容等を検討するなど、学級の自主的な運営が実施できた。 <p>○地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 学級の開催における講師等には、地域の機関・団体や個人を招き人材を活用するとともに、町外の講師を招き、内容の充実に努めた。 						
			成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
②成果指標	生涯学習学級	登録者数	人	559	481	H20 804,202	
						H21 1,131,707	
							H20
							H21
							H20
							H21
③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①開催している生涯学習の学級がここ数年同じ内容で推移している。受講者には人気があり継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確にとらえながら新しい学級や講座の開催を検討することが必要である。</p>						
	<p>【新たな課題】</p> <p>①生徒が減少している生涯学習学級があり、学級の内容等を検討する必要がある。</p>						

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①学級や講座の開催については、住民ニーズ等を把握し、必要に応じ学級運営の見直しや新設を検討する。</p>					
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①生徒が減少している生涯学習学級の対策として、現学級を魅力ある学級として運営の改善を図るとともに、必要に応じ学級の閉鎖や新設を検討する。</p>					

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)					
	☒ 見直し	(内容)	☐ 予算拡充	☐ 予算削減	☐ 事業拡大	☐ 事業縮小	☒ 手法見直し
<ul style="list-style-type: none"> 住民が主体的に学習ができる学級運営を行う。 地域の社会資源を掘り起こし活用する。 							

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑬青少年の健全育成	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の⑧
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の健全育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成三郷町民会議 <ul style="list-style-type: none"> ・青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体が緊密な協力により、広く町民の総意を結集し次代を担う青少年の健全な育成を図る。 ①親子のつどい <ul style="list-style-type: none"> ・活力と創造性に満ちた青少年を育成するとともに、親子・地域社会等のふれあいを築くことを目的とする。 ②教育講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的として講演会を開催する。 ③非行防止 <ul style="list-style-type: none"> ・有害図書類等に対する立入調査の実施（年1回）。また、関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。 ○成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成三郷町民会議 <ul style="list-style-type: none"> ①指導推進部会 <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中高の様子や長期休み期間の生活の様子などについて、意見交換を行うとともに、虐待や不審者情報などの報告等を行った。 ②調査研究部会 <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年2月25日に「弘済のぞみ園 下川隆土園長」より「青少年のこころを育てる」をテーマに講演会を行った。また、同日奈良市立都南中学校に出向き、青少年問題について意見交換を実施した。 ③啓発促進部会 <ul style="list-style-type: none"> ・町民会議の各種事業について、関係機関等に周知を図り啓発活動を行った。 ④地域活動部会 <ul style="list-style-type: none"> ・親子のつどいの開催について協議するが、インフルエンザ感染拡大防止のため中止となった。 ⑤関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・「三郷町児童虐待防止ネットワーク」や「同推・児童館連絡協議会」と連携を図り、幼児・児童生徒がおかれている現状を認識し、青少年の健全育成を図った。 ○親子の集い <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は新型インフルエンザ感染拡大防止のため事業を中止した。 ○教育講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・本年度は新型インフルエンザ感染拡大防止のため事業を中止した。 ○非行防止 <ul style="list-style-type: none"> ・平郡町と三郷町合同による有害図書等の巡視を11月18日に実施した。 ・関係機関の協力のもと、学校の長期休み期間に町内を公用車において巡視した。 夏休み期間 7月23日・30日、8月4日・6日・18日・20日・25日（巡視時間 19時30分～21時30分） 春休み期間 3月25日・26日・29日・30日（巡回時間 19時～21時） ○成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・三郷町文化センター及び三郷町スポーツセンターにおいて実施した。 日時：平成22年1月10日 参加人数：160人
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年育成三郷町民会議 <ul style="list-style-type: none"> ・一部事業は新型インフルエンザ感染拡大防止のため中止となったが、関係機関とは十分に連携がとられ、青少年の健全な育成が図られた。 ○親子の集い及び教育講演会 <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施に向け準備をしていたが、新型インフルエンザ感染拡大防止のため事業が中止となった。 ○非行防止 <ul style="list-style-type: none"> ・当初13回の巡視を予定していたが、大雨により2回が中止となった。 ○成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・対象者232人に対し参加者が160人であり、出席率として68.96%であった。
-------------	---

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)	
	親子の集い	参加者数	人	190	中止	H20	700,171
教育講演会	参加者数	人	162	中止			
非行防止	巡回回数	回	9	11	H21	403,585	
成人式	参加者数	人	164	160	H20	218,130	
					H21	286,575	
					H20		
					H21		

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①非行防止 <ul style="list-style-type: none"> ・巡視において青少年に対して指導は行いが、補導等の権限がなく警察との連携が必要となっている。 ②成人式 <ul style="list-style-type: none"> ・参加者がここ数年70%前後であり、参加率の向上が必要である。 <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①警察との連携として、所轄の警察署や交番に巡視時に同行を依頼する。 ②成人式の参加率を向上させるため、新成人が成人式に関心をもつ内容にし、参加者を募る。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☒ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☐ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止
<p>・青少年の育成は地域の協力が必要不可欠であり、今後も関係機関等が連携を密に図りながら取り組みを行う。</p>		

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑭人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第4章・第1節の①②
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。 行政、関係機関・団体の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・教育を受ける権利を保障されなかった方に文字などの学習する機会を提供する。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な問題としてとらえ人権確立を図る。 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○識字学級 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週月・木曜日に学級を実施し、登録者は学習意欲が高く熱心に学習されていた。 登録者数：5人 ※学習内容としては、文字の練習、数字の計算等を学んだ。 ○人権教育地区別懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・本年は、新しい形態の人権問題として「インターネット」に関わる人権侵害が発生していることから、そのことをテーマに町内14会場で開催した。 延べ参加人数：472人 ○人権問題学習セミナー <ul style="list-style-type: none"> ・年間5回のセミナーを行った。内容として「自主夜間中学校がめざすもの」・「人権を大切にすまらづくり」・「楽しい寸劇を通して伝える命の大切さ」を演題として講座を3回開催した。 ・「立命館大学国際平和ミュージアム」・「米原市息郷地域総合センター」の現地に出向き学習を行った。 延べ参加人数：237人 ○人権に関わる相談や対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図り、「第21回人権を確かめあう県内一斉集会」、「町民集会」などの人権に関わる事業を共に行った。 ・随時人権相談に応じるとともに、児童虐待防止ネットワークなどとも連携を図り問題解決にあたった。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○識字学級 ・週2回の開催計画であったが、登録者の都合により休校した日もあり、年間50回の開催となった。</p> <p>○人権教育地区別懇談会 ・新たな人権問題に取り組むことにより、人権意識の向上が図られた。</p> <p>○人権問題学習セミナー ・人権に関する講座や現地学習を行うことにより、共に生きる地域づくりが図られた。</p> <p>○人権に関する相談や対応 ・現在、経過を見ているケースもあるが、概ね問題解決が図られた。</p>					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	識字学級	実施回数	回	52	50	H20 10,000 H21 17,460
	人権教育地区別懇談会	参加者数	人	478	472	H20 212,787 H21 242,523
	人権問題学習セミナー	参加者数	人	264	237	H20 277,650 H21 277,800
						H20 H21
						H20 H21
③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①識字学級 登録者の高齢化や健康上の都合から出席人数が減っており、登録者全員の出席が望まれる。</p> <p>②人権教育地区別懇談会 参加者数が近年横ばいであり、一人でも多くの参加が望まれる。</p> <p>【新たな課題】</p> <p>①人権教育地区別懇談会について、若年層の参加が少ないこと。</p>					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①識字学級は、出席人数を増やすため、登録者が参加しやすい曜日や時間帯を検討する必要がある。</p> <p>②人権教育地区別懇談会は、参加者数の増加のため、自治会をはじめ関係機関へ周知をより一層行うとともに、懇談会のテーマについても社会情勢などを把握しながら取り組んでいく。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>①人権教育地区別懇談会の若年層の参加を増やすため、教材の精選が必要である。</p>	
------------	--	--

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	☒ 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止</p> <p>・人権は誰もが持っている普遍的な権利であり、差別のない人権が尊重される地域社会を目指すため、情報や学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。</p>
--------------	--	--

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑮文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の②
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。 施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。 施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ活動の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・趣味などの自主的な活動のために集う住民グループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。 ○各種公開講座・文化教室 <ul style="list-style-type: none"> ・文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうための各種学級や文化教室などの事業を実施する。 ○指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用しより充実した文化センターの管理運営を行うため、(財)三郷町文化振興財団を指定管理者としている。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○公開講座				
	・映像歴史教室	延べ受講者数	48人	5回開催	
	・源氏物語	延べ受講者数	62人	5回開催	
	○文化教室				
		教室名	内 容		延受講者数
		トールペイント	生活に身近な箱やメッセージボードなど木製品にペイントする。		171人
		パッチワーク+アルファ	パッチワークに加えて、ビーズなどのあしらいでかわいいグッズを製作する。		246人
		パンとお菓子	様々な手作りパンとデザートやサラダを作る。		379人
		男の料理	男性も楽しく簡単にできる献立を紹介。		367人
		音楽	発声法から始めて、ポピュラー音楽を楽しく歌う。		237人
	ピアノ	グループレッスンをもとに自分自身のピアノも手軽に学ぶ。		155人	
	フラダンス	身体をゆったりと使って心と身体のダンスを習得する。		216人	
	気功	中国の養生法気功で毎日の健康維持を図る。		279人	
	ヨーガ	心身を伸ばして腹式呼吸でゆったりとリラクゼーションを学ぶ。		152人	
	ストレッチと社交ダンス(上)	筋肉をほぐしながら正しい姿勢をつくる社交ダンスを学ぶ。		81人	
	ストレッチと社交ダンス(下)	筋肉をほぐしながら正しい姿勢をつくる社交ダンスを学ぶ。		96人	
	○文化センター利用者数				
	文化ホール	9,993人			
	展示室	7,160人			
	会議室・研修室	19,410人			
	その他	45,910人			
	合計	82,473人			

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○公開講座 ・公開講座として「映像歴史教室」及び「源氏物語」の2講座を延べ10回開催し、計画を達成するとともに、歴史のロマンに親しむことができた。</p> <p>○文化教室 ・当初募集を予定していた15教室の内、5講座が定員割れをしたため別の講座を再募集した。参加者には自分の趣味や興味等を活かす有意義な教室となった。</p> <p>○文化センター利用状況 ・住民の多様な学習等に応じることができる施設を備え、活動の場として多くの利用者にサービスの提供ができた。</p>
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
		公開講座	参加者数	人	108	110
	文化教室	参加者数	人	2,641	2,379	H20 2,434,600 H21 2,008,400
	文化センター	利用者数	人	75,113	82,473	H20 38,360,511 H21 35,537,107
						H20 H21
						H20 H21

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①文化教室 ・住民が希望する文化活動等ができるよう住民ニーズを把握し、有効な施設利用をするための工夫が必要である。</p> <p>②施設の維持管理 ・施設が経年劣化により不具合や故障が出ていることから、計画的な改修が必要である。</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①文化教室は、住民の希望する文化活動を把握するため、アンケートの実施等により、社会情勢を的確にとらえ、施設の有効活用を行う。</p> <p>②施設の営繕については、緊急度や財政状況を勘案しながら計画的に改修を行う。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☒ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☐ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止
<p>・今後も指定管理者としての事業展開も併せ、施設の機能をフルに活用し、住民の文化活動の拠点となるよう有効的な運用を行う。</p>		

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 文化活動団体について、地域の文化活動を支える人たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持たせ、会員の輪を広げていきます。 今後も、文化活動団体育成のための支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを整備する。 ○三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各諸団体の活動及び運営に要する経費を予算の範囲内で補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会 ③三郷町子ども会連合会 ④三郷町文化祭実行委員会 ⑤三郷町芸術祭実行委員会
---------	--

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師の選定において、地域の団体・個人と連携を図ることにより指導者の掘り起こし及び講師としての協力を得ることができた。 <ul style="list-style-type: none"> ①家庭教育学級 2回（太極拳、ジャザサイズ） ②長寿学級 2回（軽スポーツ、合唱指導） ③くれない学級 4回（パッチワーク、陶芸、寄せ植え、ヨガ） ④子ども人権学習支援事業 4回（軽スポーツ、ゲートボール、科学実験） ○団体への助成 <ul style="list-style-type: none"> ①三郷町文化協会（補助金額：320,000円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：町の文化活動の中核団体として、文化の振興と向上、会員相互の親睦を図り、かつ個人の教養を高める。 主な事業：総会、第3回文化協会まつり、人権学習会を開催し、随時役員会を開催。第41回町民文化祭、研修会については新型インフルエンザ感染拡大防止のため中止。 ②三郷町地域婦人団体連絡会（補助金額：360,000円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：会員相互の親睦を図り、教養を高め家庭生活の樹立と平和で民主的な社会の建設に努めるとともに、女性の地位向上を目指す活動の支援・協力をを行う。 主な事業：総会、環境学習等の学習会、町の各事業への参加、また、老人福祉施設へのボランティアを行った。 ③三郷町子ども会連合会（補助金額：288,000円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：子どもたちの健全育成を図るとともに、三郷町子ども会連合会活動を通して地域の連帯力と子どもたち一人ひとりの社会生活能力を高める活動の支援・協力をを行う。 主な事業：総会、子ども会の日（8月8日）にプール遊び等を実施。他に、リーダー研修会、まぜこじゃの会、どろんこあそびの会等を開催した。 ④三郷町文化祭実行委員会（補助金額：551,907円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：町民文化祭の開催にかかる企画、準備、運営等を協議する。 主な事業：第41回町民文化祭を予定し準備していたが、新型インフルエンザ感染拡大防止のため中止となった。 ⑤三郷町芸術祭実行委員会（補助金額：355,433円） <ul style="list-style-type: none"> 目 的：三郷町芸術祭の開催にかかる企画、準備、運営等を協議する。 主な事業：町民と近在住民の芸術に対する関心を高めるとともに、交流振興を図ることを目的に「第22回三郷町芸術祭」を開催し、96点の作品が展覧され、1,200人の来場者があった。
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習の指導者等の活用支援 ・生涯学習を行う機会において、地域の指導者の協力を得て活用することができた。 ○三郷町文化協会 ・町民文化祭を除き、予定していた事業は計画通り実施でき、文化の振興と向上等が図られた。 ○三郷町地域婦人団体連絡協議会 ・町民文化祭を除き、予定していた事業は計画通り実施でき、教養を高め女性の地位の向上が図られた。 ○三郷町子ども会連合会 ・予定していた事業は新型インフルエンザ感染拡大防止のため一部事業が中止となったが、実施した事業では子どもたちの健全な育成が図られた。 ○三郷町文化祭実行委員会 ・新型インフルエンザ感染拡大防止のため中止となる。 ○三郷町芸術祭実行委員会 ・芸術祭を開催し、文化の振興、芸術の向上が図られた。 					
②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	三郷町文化祭実行委員会	参加団体数	団体	83	中止	H20 712,596 H21 551,907
	三郷町芸術祭実行委員会	来場者数	人	608	1,200	H20 359,645 H21 355,433
						H20 H21
						H20 H21
						H20 H21
③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①生涯学習の事業実施に伴い、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。 ②三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数が年々減少しており、会員を増加し、組織力を強化する必要がある。 <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①人材を掘り起こすため、地域や団体・機関と連携を図り、指導者等の人材確保と支援に努める。 ②婦人会の会員を増加させるため、広報等で周知を図り、会員の増強を図る。 	
	<p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>	

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	<p>※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☒ 手法見直し ☐ 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に埋もれている貴重な人材掘り起こし、様々な学習活動の支援をいただくとともに、指導者の育成及び支援を合わせて行う。 ・現在活動をされている団体・個人に対しても引き続き支援を行う。
	☒ 見直し	

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	①図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	総合計画位置づけ	第1章・第3節の④
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○資料情報の提供 <ul style="list-style-type: none"> ・町民の求める資料情報をできる限り幅広く収集し、提供する。 ○子どもの読書の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児向けにブックスタート、ゆりかごおはなし会を実施するとともに、児童生徒に対しては毎週日曜日のおはなし会、土曜の午後のおはなし会や夏のつどい、冬のつどいなどを実施し、夏休みには本の森探検隊事業により、子どもの読書推進を図っていく。 ○一般成人向け講演会など生涯学習事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・毎週土曜日に映画上映会を行うとともに、ギターマンドリンコンサートなどの演奏会や講演会などを実施して、生涯学習の場として憩いの空間を提供する。
---------	--

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	○平成21年度統計																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成20年度</th> <th>平成21年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>213,727冊</td> <td>218,141冊</td> </tr> <tr> <td>入館者数</td> <td>200,453人</td> <td>190,703人</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td>97,057人</td> <td>92,972人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>290,555冊</td> <td>286,679冊</td> </tr> </tbody> </table>		平成20年度	平成21年度	蔵書冊数	213,727冊	218,141冊	入館者数	200,453人	190,703人	貸出人数	97,057人	92,972人	貸出冊数	290,555冊	286,679冊																																										
	平成20年度	平成21年度																																																								
蔵書冊数	213,727冊	218,141冊																																																								
入館者数	200,453人	190,703人																																																								
貸出人数	97,057人	92,972人																																																								
貸出冊数	290,555冊	286,679冊																																																								
	○図書館行事																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>行事名</th> <th>概要</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート</td> <td>7ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う。</td> <td>170人</td> </tr> <tr> <td>ゆりかごおはなし会</td> <td>0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う。</td> <td>273人</td> </tr> <tr> <td>おはなし会</td> <td>毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う。</td> <td>998人</td> </tr> <tr> <td>土曜の午後のおはなし会</td> <td>土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う。</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>夏のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。</td> <td>47人</td> </tr> <tr> <td>映画上映会</td> <td>名作映画の上映会を実施した。</td> <td>2,615人</td> </tr> <tr> <td>本の森探検隊</td> <td>テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ。</td> <td>36人</td> </tr> <tr> <td>郷土三郷の歴史講演会</td> <td>故郷の歴史を知ってもらい郷土への思いを参加者で共有する。</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>星野道夫写真展</td> <td>アラスカの自然の写真を展示した。</td> <td>310人</td> </tr> <tr> <td>つみきのいえ講演会</td> <td>アカデミー賞受賞作品を鑑賞し、製作にかかわった平田氏の講演会を実施した。</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>裁判員制度講演会</td> <td>裁判員制度についての学習をした。</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>フロアーコンサート</td> <td>年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った。</td> <td>200人</td> </tr> <tr> <td>大人のためのストーリーテリング</td> <td>大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した。</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>四国八十八か所講演会</td> <td>四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした。</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>大正琴コンサート</td> <td>大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした。</td> <td>105人</td> </tr> <tr> <td>詩の朗読と室内音楽会</td> <td>詩の朗読とそれに合わせた室内音楽の演奏会。</td> <td>90人</td> </tr> <tr> <td>ギター演奏会</td> <td>ギターのグループによる演奏会。</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>童謡コンサート</td> <td>町内在住に絵本作家武鹿悦子氏の講演会とその童謡を歌っていただいた。</td> <td>134人</td> </tr> </tbody> </table>	行事名	概要	参加人数	ブックスタート	7ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う。	170人	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う。	273人	おはなし会	毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う。	998人	土曜の午後のおはなし会	土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う。	107人	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。	47人	映画上映会	名作映画の上映会を実施した。	2,615人	本の森探検隊	テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ。	36人	郷土三郷の歴史講演会	故郷の歴史を知ってもらい郷土への思いを参加者で共有する。	90人	星野道夫写真展	アラスカの自然の写真を展示した。	310人	つみきのいえ講演会	アカデミー賞受賞作品を鑑賞し、製作にかかわった平田氏の講演会を実施した。	148人	裁判員制度講演会	裁判員制度についての学習をした。	15人	フロアーコンサート	年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った。	200人	大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した。	32人	四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした。	64人	大正琴コンサート	大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした。	105人	詩の朗読と室内音楽会	詩の朗読とそれに合わせた室内音楽の演奏会。	90人	ギター演奏会	ギターのグループによる演奏会。	68人	童謡コンサート	町内在住に絵本作家武鹿悦子氏の講演会とその童謡を歌っていただいた。	134人
行事名	概要	参加人数																																																								
ブックスタート	7ヶ月健診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う。	170人																																																								
ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う。	273人																																																								
おはなし会	毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う。	998人																																																								
土曜の午後のおはなし会	土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う。	107人																																																								
夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う。	47人																																																								
映画上映会	名作映画の上映会を実施した。	2,615人																																																								
本の森探検隊	テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ。	36人																																																								
郷土三郷の歴史講演会	故郷の歴史を知ってもらい郷土への思いを参加者で共有する。	90人																																																								
星野道夫写真展	アラスカの自然の写真を展示した。	310人																																																								
つみきのいえ講演会	アカデミー賞受賞作品を鑑賞し、製作にかかわった平田氏の講演会を実施した。	148人																																																								
裁判員制度講演会	裁判員制度についての学習をした。	15人																																																								
フロアーコンサート	年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った。	200人																																																								
大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した。	32人																																																								
四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした。	64人																																																								
大正琴コンサート	大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした。	105人																																																								
詩の朗読と室内音楽会	詩の朗読とそれに合わせた室内音楽の演奏会。	90人																																																								
ギター演奏会	ギターのグループによる演奏会。	68人																																																								
童謡コンサート	町内在住に絵本作家武鹿悦子氏の講演会とその童謡を歌っていただいた。	134人																																																								
	○レファレンスサービス																																																									
	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭、電話、文書で寄せられる質問に対して、図書館資料を使って回答を行い、必要に応じて県立図書情報館に協力依頼して回答を行う場合もある。 																																																									
	○インターネット、モバイル端末による蔵書の検索、予約を実施した。																																																									
	○ティーンズコーナーを設置し、中高生向けの資料を別置して提供した。																																																									

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○資料情報の提供 ・年間約7,000点の資料を購入して、町民の読書ニーズに応えた。また、平成21年度は新型インフルエンザの影響もあり、来館者数、貸出人数はともに減少した。</p> <p>○子どもの読書の推進 ・ブックスタート、ゆりかごおはなし会、おはなし会、土曜の午後のおはなし会、本の森探検隊、夏のつどいなど子どもの読書を推進するために多くの行事を実施した。新型インフルエンザの影響により、中止した行事もあり全体的に参加者数が減った。</p> <p>○一般成人向け講演会など生涯学習事業の推進 ・映画上映会は町民の中に定着しており、平成20年度から100人の増加となった。また、歴史講演会や写真展など様々な事業を実施した。</p>
-------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
②成果指標	資料情報の提供	貸出冊数	冊	290,555	286,679	H20 10,463,670
						H21 10,452,254
	子どもの読書の推進	参加者数	人	2,223	1,631	H20 242,810
						H21 281,997
生涯学習事業の推進	参加者数	人	3,370	3,871	H20 80,000	
					H21 80,000	
						H20
						H21
						H20
						H21

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①図書館を利用されていない方々に対していかに図書館を利用していただくかを検討する。 ②おはなしボランティアの増員を図る。 ③小中学校や保育所、幼稚園などとの連携を一層進める。</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①図書館の利用者数を増やすため、様々なニーズに合わせた行事を行って、図書館への来館を促す。また、ホームページや広報を通じて図書館の魅力をアピールする。 ②おはなしボランティアの増員を図るため、おはなしボランティア養成講座を開いて、ボランティアとして一歩を踏み出してもらうように援助する。 ③小中学校等との連携については、小中学校の図書室の現状を把握して、相互に協力できることを探る。また、保育所、幼稚園については子どもの読書を推進の方策について意見交流を進める。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	☒ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☐ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止
<p>・町民への資料情報の提供活動を基本として、また、子どもたちや一般の方々が本と触れ合う拠点として、誰もが本に親しめる様々な事業を展開していく。</p>		

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩文化財の保護と活用	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第2章・第4節の①②③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県と連携しながら文化財保護に努め、案内看板・説明看板の整備など環境の整備に努めます。 ・民間団体による調査活動を支援するとともに、住民団体と協力して歴史的資料の発掘及び保全・管理をするための調査を進めます。 ・文化財の保全・管理・展示を行う郷土資料室のあり方について検討します。 ・ボランティアの育成に努めながら、地域の歴史にふれる機会の充実を図ります。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、国・県等の関係機関と連携を図りながら町内の文化財の確認作業及び指定文化財等への保存助成、環境整備を行います。 ・文化センター内に設置している「郷土資料室」の有意義な活用を図る。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・町内の文化財について広く町民等に啓発できるよう、企画立案する。 ○地域の歴史学習の機会の提供等 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の一環として、地域の歴史を学ぶ教室を開催する。また、歴史・文化財に係る地域のグループ等がより充実した活動ができるよう協力・支援する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・現在、町内には国指定重要文化財3点、県指定文化財1点、町指定文化財13点、国登録文化財1点がある。それぞれの文化財の保存及び活用については、その所有者と連携を図り適切な対応を行った。 ・遍照院シダレザクラの樹木消毒の維持管理経費の一部を助成するとともに、薬隆寺八幡神社の防火設備点検費の一部を助成した。 ・奈良県からの委嘱により、定期的に町内文化財の巡視と適切な保護を行った。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史・文化のグループである「史蹟研究会」の協力のもと、「三郷路ふるさと散歩」を増刷し、町内にある文化財の啓発を行った。 ・また、冊子「わがふるさとの万葉歌」を増刷した。 ・町内の生涯学習のグループである「史蹟研究会」の協力により、文化センター内にある「郷土資料室」の総点検及び整備と町の保管している文化財の保護及び活用を図るとともに、来場者がより見やすい展示を行った。 ・町内にある文化財の啓発用看板の点検及び不良個所の修理等を行った。 ○【平城遷都1300年祭】※平成21年度事業（開催日は平成22年度） <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年は「平城京」が誕生してから1300年目にあたることから、これを記念し奈良県下で各種記念事業を行った。 ・三郷町の記念事業としては、「みさと万葉学習会」、「史蹟研究会」、「三郷町観光協会」などの関係機関の協力により「平城遷都1300年祭実行委員会」を立ち上げ、下記の事業を実施した。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>日 時</td> <td>平成22年4月4日</td> </tr> <tr> <td>場 所</td> <td>三郷町文化センター及び町内</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>「～万葉のさと三郷～講演会」 講師 奈良女子大学教授 坂本信幸 音楽で綴る万葉集「みやびうたコンサート」 ソプラノ歌手 歌枕 直美 「ゆるキャラ祭り」 たつたひめ、せんとくん等 「万葉ウォーク」 町内の万葉集に関わる史跡を巡るウォークの実施</td> </tr> </table> ○文化・歴史学習の機会 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習の学級として「歴史教室」を開講し、身近な歴史等を学ぶ機会を提供した。 ・また、三郷町に関わる万葉歌が多く謳われていることをなどを踏まえ、「みさと万葉学習会」を開講し、歴史のロマンに触れた。 	日 時	平成22年4月4日	場 所	三郷町文化センター及び町内	事業内容	「～万葉のさと三郷～講演会」 講師 奈良女子大学教授 坂本信幸 音楽で綴る万葉集「みやびうたコンサート」 ソプラノ歌手 歌枕 直美 「ゆるキャラ祭り」 たつたひめ、せんとくん等 「万葉ウォーク」 町内の万葉集に関わる史跡を巡るウォークの実施
日 時	平成22年4月4日						
場 所	三郷町文化センター及び町内						
事業内容	「～万葉のさと三郷～講演会」 講師 奈良女子大学教授 坂本信幸 音楽で綴る万葉集「みやびうたコンサート」 ソプラノ歌手 歌枕 直美 「ゆるキャラ祭り」 たつたひめ、せんとくん等 「万葉ウォーク」 町内の万葉集に関わる史跡を巡るウォークの実施						

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○文化財の保護 <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の維持管理に伴う経費を助成するとともに、町内の文化財の定期的な巡視を行うことにより、適切な文化財の保護が行えた。 ○文化財の啓発・活用 <ul style="list-style-type: none"> ・「わがふるさとの万葉歌」及び「三郷路ふるさと散歩」を増刷し、多くの方に町内の歴史に関わる史跡等の啓発・活用がなされた。また、「郷土資料室」の点検整備を行い、郷土の歴史的資料の活用がより一層充実した。 ○平成遷都1300年祭の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・平成遷都1300年祭を開催し、「講演会」、「コンサート」、「歴史ウォーク」を行い延べ480人の参加があった。 ○学級の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・「歴史教室」は133人、「みさと万葉学習会」では64人の登録があり、1年を通じて歴史文化に親しむことができた。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	遍照院シダレザクラ	消毒業務	有無	有	有	H20 80,000 H21 80,000
薬隆寺八幡神社	防火施設点検 (県補助額)	有無	有	有	H20 15,000 H21 15,000	
					H20 H21	
					H20 H21	
					H20 H21	

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①町内の各家屋等に眠っている貴重な文化財を掘り起こし、適切な管理のもと文化財保護に努める。 ②文化財の啓発看板が老朽化しており、改修等の必要がある。 <p>【新たな課題】</p>
--------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①文化財の掘り起こしについては、地域や関係機関との連携を密に行い、町内の文化財に関する情報を収集する。 ②文化財の啓発看板等については、定期的に巡回し、不良箇所がないか確認し必要に応じて修理等を行う。 <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p>☒ 現状維持 ※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>☐ 見直し (内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止</p> <p>・現存する文化財の適切な保護及び活用を行い、広く町民に文化財の重要性や身近な歴史に触れる啓発を行う。</p>
--------------	---

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	⑩生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第4節の①②③
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> 誰でも継続的に気軽に楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。 健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。 青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。 				

2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町体育協会や三郷町スポーツ少年団などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。 ○軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらうことを目的に、各種スポーツ等を実施する。
---------	---

3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの推進 <ol style="list-style-type: none"> ①町民体育祭の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会がスポーツイベントを通じてスポーツに親しみ、町民の輪を広げることをテーマに、三郷町体育協会及び三郷町スポーツ少年団の協力のもと、10月11日に三郷町健民グラウンドにおいて第39回町民体育祭が開催された。 ②野球審判講習会 <ul style="list-style-type: none"> ・盛んなスポーツの一つとして野球があるが、試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正に対応するため、4月18日に講習会を開催した。 ③関係団体に補助金の助成 <ul style="list-style-type: none"> 【三郷町体育協会】 目的：スポーツの普及振興と競技団体の育成強化を図り、町民の健康増進と体力の向上に努め、明るく活力ある地域社会づくりに寄与する。 ※補助金額 1,738,602円 【三郷町スポーツ少年団】 目的：加盟団体の資質の向上を図り、スポーツ振興意欲を高める。 ※補助金額 800,000円 ④体育指導委員 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども人権学習支援事業や福祉関係のイベントなどに出向き、スポーツ振興のため住民に対しスポーツの実技指導等を行った。 ○軽スポーツ事業 <ul style="list-style-type: none"> ・体育指導委員のもと9月27日に軽スポーツフェスティバル、11月1日に軽スポーツ大会を開催し、軽スポーツの普及に取り組んだ。
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	<p>※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>○スポーツの推進及び軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町の社会体育の最大イベントである町民体育祭を町体育協会及びスポーツ少年団等の協力により開催し、約3,000人の参加があり、スポーツの振興と健康の増進を図ることができた。 ・体育指導委員が地域に出向き、軽スポーツ等の振興を図ることができた。 <p>○関係団体に補助金の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「町体育協会」及び「町スポーツ少年団」に補助金を助成し、スポーツ振興に関わり育成及び強化を図ることができた。
-------------	--

②成果指標	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
	三郷町体育協会	補助金	円	2,219,391	1,738,602	H20 2,219,391
						H21 1,738,602
	三郷町スポーツ少年団	補助金	円	800,000	800,000	H20 800,000
						H21 800,000
町民体育大会	参加者数	人	2,400	3,000	H20 945,214	
					H21 939,903	
						H20
						H21
						H20
						H21

③事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>①昨今、新しいスポーツ種目が発案されていることから、本町においてもその種目の取り入れ方法を検討するとともに、既存の種目においても、競技人口が減少しているものがあり今後の運営の在り方を検討する必要がある。</p> <p>【新たな課題】</p>
--------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>①新しいスポーツ種目については、競技の目的・ルール等を十分把握し、実施市町村等へ出向くなど情報の収集及び分析を行い、地域への普及を検討する。</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	☐ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☒ 見直し	<p>(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☒ 手法見直し ☐ 休止・廃止</p> <p>・誰もが親しみ楽しめるスポーツの普及を行うとともに、指導者やボランティアの育成を行いスポーツ振興を図る。</p>

平成21年度 教育に関する事務の点検・評価シート

1 基本事項

施策名	㊟スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第4節の④⑤
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの方が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。 ・将来的に、財政状況も考慮しつつ、自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの設置を検討します。 				

2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大及び社会体育を推進する。 ○指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したウォーターパークの管理運営を行うため指定管理とする。
---------	---

3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・各施設は、設置からかなりの年月が経ち、経年劣化により施設の維持修繕が必要になっていることから、修繕、改修を行い施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。 ①竜田運動公園 <ul style="list-style-type: none"> ・住民が体育に関心を高め、その普及と向上発展を図るために設置。 利用種目：成人及び少年野球、ソフトボール、グランドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：トイレ排水管の改修、テニスコートワイヤー取替、真砂土の入替等を行った。 ②勢野グラウンド <ul style="list-style-type: none"> ・住民が体育に関心を高め、その普及と向上発展を図るために設置。 利用種目：少年野球、女子ソフト、少女ソフト ③スポーツセンター <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康で文化的な生活の向上を図るために設置。 利用種目：卓球、ソフトテニス、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：温水ボイラー取替、サブアリーナ床面改修、冷水器の取替等を行った。 【トレーニング室】 ランニングマシンのベルト取替を行うとともに、新しいトレーニングマシンを設置した。 ④ウォーターパーク <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの振興及び体力の維持増進を図り、心身の健全な発達と健康で明るい生活の向上を図るために設置。 施設整備：事務室の空調設備の改修、幼児用プールの散水ポンプの取替、屋外プールのスライダーの支柱塗装工事、温水ポンプ取替及び揚水管のブラッシング工事を行った。 ○指定管理 <ul style="list-style-type: none"> ・民間のノウハウを生かし効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成19年度から3年間ウォーターパークを(株)サンアメニティーへ指定管理を行った。(指定管理料:19,950,000円) ○施設利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健民グラウンド</td> <td>38,957人</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>10,071人</td> </tr> <tr> <td>勢野グラウンド</td> <td>3,215人</td> </tr> <tr> <td>スポーツセンター</td> <td>69,369人</td> </tr> <tr> <td>ウォーターパーク</td> <td>48,148人</td> </tr> </tbody> </table> 	施設名	利用者数	健民グラウンド	38,957人	テニスコート	10,071人	勢野グラウンド	3,215人	スポーツセンター	69,369人	ウォーターパーク	48,148人
施設名	利用者数												
健民グラウンド	38,957人												
テニスコート	10,071人												
勢野グラウンド	3,215人												
スポーツセンター	69,369人												
ウォーターパーク	48,148人												

4 点検評価・課題(CHECK)

①達成度(成果)の分析	※事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 ○スポーツ施設の整備 ・適切な施設管理及び運営を行うことにより、安全で安心な施設利用をしていただくことができた。 ○指定管理 ・平成19年度からの3年間の指定管理も最終年度となったが、民間のノウハウを生かし効率的・効果的な施設運営ができた。					
	事業名	成果指標名	単位	H20年度	H21年度	決算額(円)
②成果指標	指定管理	指定管理料	円	20,160,000	19,950,000	H20 20,160,000 H21 19,950,000
						H20 H21
						H20 H21
						H20 H21
						H20 H21
						H20 H21
③事業の課題	【継続的な課題】 ①施設の維持管理 ・施設の経年劣化により、施設の不具合や故障が発生し維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。 ②自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの設置が各自治体で進んでいるが、本町としても設置に向け検討する必要がある。					
	【新たな課題】					

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 ①施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修を行う必要がある。 ②総合型地域スポーツクラブの設置については、関係機関や団体と協議を行いながら推進する。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】					

6 今後の計画・方向性(PPLAN)

事業の計画・今後の方向性	☒ 現状維持	※事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	☐ 見直し	(内容) ☐ 予算拡充 ☐ 予算削減 ☐ 事業拡大 ☐ 事業縮小 ☐ 手法見直し ☐ 休止・廃止 ・住民が望む生涯スポーツを推進するため、現体育施設の適正な維持管理を行うとともに施設整備を行う。

IV 学識経験者の知見の活用

1. 点検評価有識者

平成21年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、下記の学識経験者を点検評価有識者に委嘱し、7月・8月に2回のヒアリングを実施し、指導及び助言を受け、報告書に所要の修正を行った。

☆点検評価有識者：大阪教育大学・教育学部 米川 英樹 教授

2. 指導・助言の内容

なお、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言をいただいた。

三郷町教育委員会の平成21年度にかかる「教育に関する事務の点検及び評価報告書」は、以下の点で平成20年度以前の報告書と比べて大きな改善がみられた。それらは、①三郷町教育委員会の施策を三郷町第4次総合計画と対応させることによって、計画と施策の関連の明確化をはかったこと、②外部の点検評価有識者の指導・助言を受けて、報告書のとりまとめを行ったこと、③計画(PPLAN)、実行(DO)、点検(CHECK)、見直し(ACTION)のPDCAサイクルを意識した記述にすることによって、施策の現状と改善への意識づけをより明確化したこと、である。

指導・助言を行う立場からみたとき、これらの改善によって、今後の三郷町教育委員会の施策の実施と改善について、以前よりも格段に透明性が確保され、議会と町民へのより適切な説明が可能となったと高く評価するものである。

一方で、点検・評価が依拠する三郷町第4次総合計画は、三郷町がめざす子ども像や学校像等、教育の中身に関わる部分が必ずしも明確には書かれておらず、今後は、総合計画を補完する教育委員会の独自計画部分についても検討することが必要であろうと思われる。たとえば学力向上に関わる事柄や子どもの将来の生き方についての指導の方向性や家庭教育についての教育委員会の姿勢等について、今後、検討が必要となろう。

また、「平成21年度教育に関する事務の点検・評価シート」自体はうまく工夫されており、評価できるものの、「4 点検評価・課題(CHECK)」については、「①達成度(成果)の分析」で、記述はされているが根拠資料が明らかではないところが随所にみられた。今後は施策を遂行する中で、可能な限り成果指標を工夫するよう意識化する努力が必要であろう。また、それぞれの施策が、国や県の予算措置によるものか、

あるいは三郷町単独予算によるものかの区別を明確化するような工夫を、今後検討していただきたい。

全体としては、平成21年度分の「教育に関する事務の点検及び評価報告書」については、これまでの枠を超えて、PDCAサイクルによる施策改善が可能なものになったことを多とし、今後の改善に向けてのさらなる努力を期待したい。

平成22年8月9日

大阪教育大学教授 米川 英樹